

川口市選挙に関する意識調査 報告書

平成27年9月
川口市

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 地域区分	4
6. 調査結果を見る上での注意事項	4
第2章 調査回答者の属性	5
第3章 調査結果の概要	9
第4章 調査結果の詳細	13
1. (1) 国政選挙への参加頻度	15
(2) 地方選挙への参加頻度	18
2. (1) 国政選挙に行った理由	21
(2) 地方選挙に行った理由	23
3. (1) 国政選挙に行かなかった理由	25
(2) 地方選挙に行かなかった理由	27
4. 投票率が低くなっている原因	29
5. 投票率が低い現状についての意見	31
6. 投票率向上のための施策	33
7. 見聞きしたことのある選挙の啓発活動	35
8. 投票率の向上に効果的な啓発活動	37
9. 自由回答	39
第5章 調査票	47

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

近年、川口市において執行された選挙は投票率が低下傾向にあり、県内他市との比較でもかなり低い状況であるため、市民の投票行動と選挙意識及び選挙啓発等について調査し、今後の選挙啓発や管理執行の基礎資料を得るため、アンケート調査を実施した。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 川口市選挙人名簿登録者（2015年6月2日時点）
- (2) 標本数 2,000人
- (3) 抽出方法 各年代から構成比に合わせて無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送による配布・回収
- (5) 調査期間 平成27年7月10日（金）～7月31日（金）

3. 回収状況

調査名	発送数	回収数	不能数※	回収率
選挙意識調査	2,000件	710件	18件	35.5%

※宛先不明戻り等（回収率には含まない）

4. 調査項目

調査名	調査項目
選挙意識調査	1. 調査対象者の属性 2. 選挙への参加頻度 3. 選挙に行った理由 4. 選挙に行かなかった理由 5. 投票率が低くなっている原因 6. 投票率が低い現状についての意見 7. 投票率向上のための施策 8. 見聞きしたことのある選挙の啓発活動 9. 投票率の向上に効果的な啓発活動 10. 自由回答

5. 地域区分

下記の通り10地域に区分した。

中央地区	本町1～4丁目、栄町1～3丁目、金山町、舟戸町、幸町1～3丁目、川口1～3丁目
横曽根地区	川口4～6丁目、飯塚1～4丁目、西川口1～6丁目、仲町、飯原町、原町、宮町、南町1～2丁目、緑町、荒川町、並木元町、並木1～4丁目
青木地区	前川町2～4丁目、青木1～5丁目、中青木1～5丁目、西青木1～5丁目、上青木西1～5丁目、上青木1～6丁目、上青木町4丁目、南前川1～2丁目、前上町、前川1～4丁目
南平地区	朝日1～6丁目、末広1～3丁目、新井町、元郷1～6丁目、弥平1～4丁目、東領家1～5丁目、領家1～5丁目、河原町
新郷地区	大字赤井、大字東本郷、大字蓮沼、大字前野宿、大字東貝塚、大字大竹、大字峯、大字新堀、大字榛松、新堀町、榛松1～3丁目、赤井1～4丁目、江戸1～3丁目、江戸袋1～2丁目、本蓮1～4丁目、東本郷1～2丁目
神根地区	大字安行領根岸、大字安行領在家、大字道合、大字神戸、大字木曾呂、大字東内野、大字源左衛門新田、大字石神、大字赤芝新田、大字西新井宿、大字新井宿、大字赤山、在家町、北園町の一部、柳根町の一部、柳崎4丁目の一部、柳崎5丁目の一部
芝地区	大字芝、大字伊刈、大字小谷場、芝中田1～2丁目、芝新町、芝下1～3丁目、芝1～5丁目、芝樋ノ爪1～2丁目、芝高木1～2丁目、芝宮根町、芝東町、芝富士1～2丁目、芝園町、芝塚原1～2丁目、芝西1～2丁目、北園町の一部、柳根町の一部、柳崎1～3丁目、柳崎4丁目の一部、柳崎5丁目の一部
安行地区	大字安行原、大字安行領家、大字安行慈林、大字安行、大字安行吉岡、大字安行藤八、大字安行吉蔵、大字安行北谷、大字安行小山、大字安行西立野、安行出羽1～5丁目
戸塚地区	大字戸塚、大字西立野、大字長蔵新田、大字久左衛門新田、大字藤兵衛新田、大字行衛、大字差間、東川口1～6丁目、北原台1～3丁目、戸塚1～6丁目、戸塚鉄町、戸塚境町、戸塚東1～4丁目、差間1～3丁目、長蔵1～3丁目
鳩ヶ谷地区	桜町1～6丁目、鳩ヶ谷本町1～4丁目、坂下町1～4丁目、大字里、大字辻、三ツ和1～3丁目、南鳩ヶ谷1～8丁目、大字前田、大字三ツ和、八幡木1～3丁目、鳩ヶ谷緑町1～2丁目

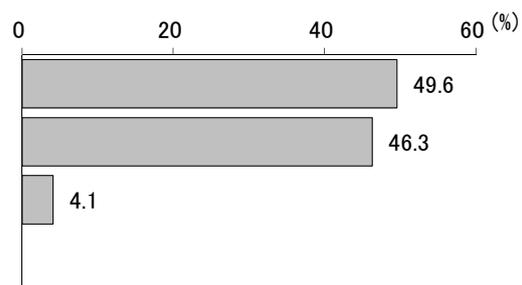
6. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、nを分母として小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第2章 調査回答者の属性

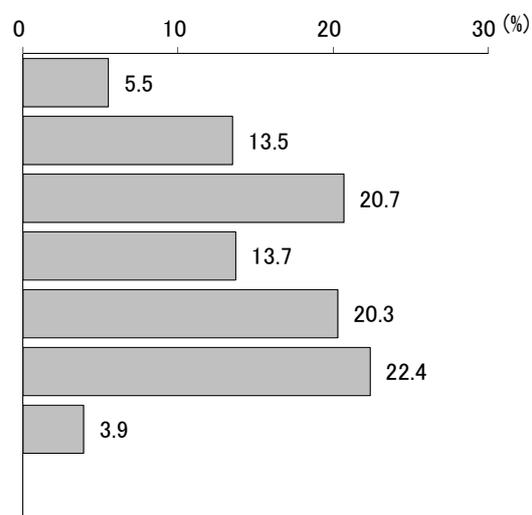
■性別

	基数	構成比
男性	352	49.6%
女性	329	46.3%
無回答	29	4.1%
全体	710	100.0%



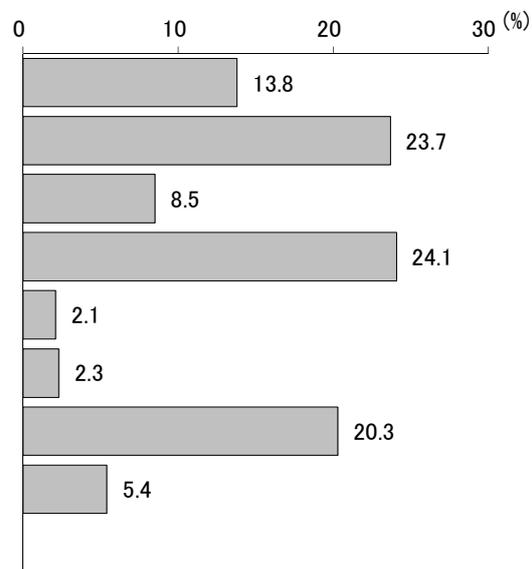
■年齢

	基数	構成比
20歳代	39	5.5%
30歳代	96	13.5%
40歳代	147	20.7%
50歳代	97	13.7%
60歳代	144	20.3%
70歳以上	159	22.4%
無回答	28	3.9%
全体	710	100.0%



■通勤・通学先

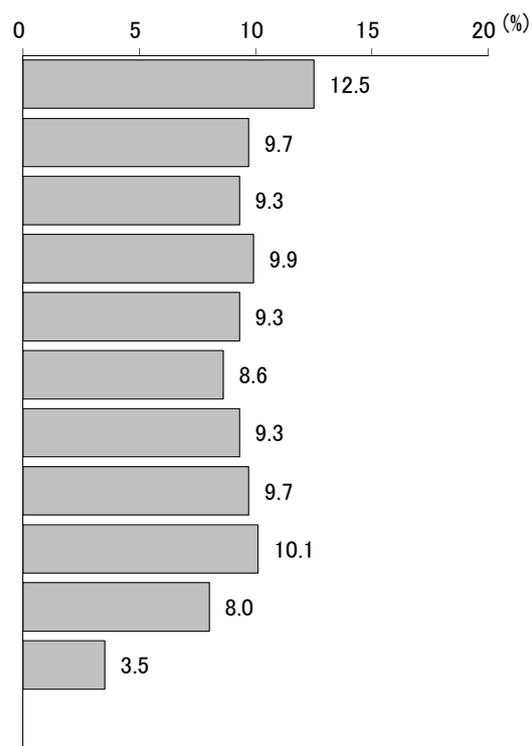
	基数	構成比
自宅	98	13.8%
川口市	168	23.7%
川口市以外の埼玉県内	60	8.5%
東京都内	171	24.1%
埼玉県と東京都以外	15	2.1%
その他	16	2.3%
通勤・通学はしていない	144	20.3%
無回答	38	5.4%
全体	710	100.0%



第2章 調査回答者の属性

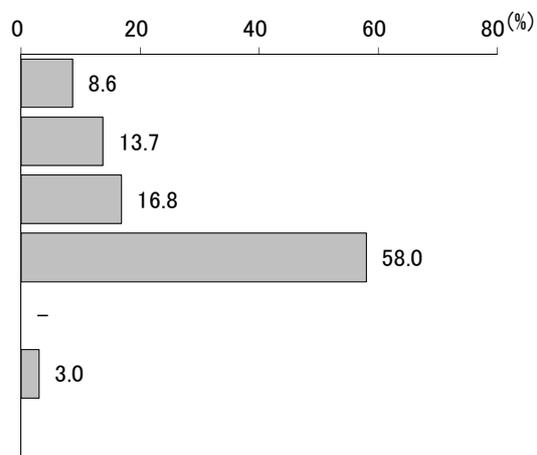
■居住地区

	基数	構成比
中央地区	89	12.5%
横曽根地区	69	9.7%
青木地区	66	9.3%
南平地区	70	9.9%
新郷地区	66	9.3%
神根地区	61	8.6%
芝地区	66	9.3%
安行地区	69	9.7%
戸塚地区	72	10.1%
鳩ヶ谷地区	57	8.0%
無回答	25	3.5%
全体	710	100.0%



■居住年数

	基数	構成比
3年未満	61	8.6%
3～9年	97	13.7%
10～19年	119	16.8%
20年以上	412	58.0%
わからない	-	-
無回答	21	3.0%
全体	710	100.0%



第3章 調査結果の概要

1. 選挙への参加頻度

◇「投票に行く人」は国政選挙で約8割、地方選挙で7割台

国政選挙への参加頻度では、「ほぼ毎回行く」(63.7%)と「行くことが多い」(14.4%)を合わせると「投票に行く人」が約8割となっている。一方、「ほとんど行かない」(7.3%)と「行ったことがない」(4.2%)を合わせると「投票に行かない人」は約1割となっている。

地方選挙への参加頻度では、「ほぼ毎回行く」(57.9%)と「行くことが多い」(15.5%)を合わせると「投票に行く人」が7割半ばとなっている。一方、「ほとんど行かない」(8.2%)と「行ったことがない」(4.9%)を合わせると「投票に行かない人」は1割を超える。

二つの選挙を比べると、「投票に行く人」は、国政選挙の方が地方選挙よりも4.7ポイントとわずかに上回っている。

2. 選挙に行った理由

◇「投票するのは国民の義務だと思うから」が5割台と最も高い

国政選挙に行った理由では、「投票するのは国民の義務だと思うから」が53.0%と最も高く、以下「投票するのは国民の権利だから」38.9%、「応援したい政党があったから」、「今の政治がよくないので、それを改めたいと思ったから」がともに35.5%、「当選させたい候補者がいたから」27.3%などとなっている。

地方選挙に行った理由では、「投票するのは国民の義務だと思うから」が51.3%と最も高く、以下「投票するのは国民の権利だから」37.0%、「当選させたい候補者がいたから」36.5%が3割台、「応援したい政党があったから」26.3%、「今の政治がよくないので、それを改めたいと思ったから」25.8%が2割台で続いている。

二つの選挙を比べると、「今の政治がよくないので、それを改めたいと思ったから」が国政選挙の方が地方選挙よりも9.7ポイント上回っている。

3. 選挙に行かなかった理由

◇「仕事や用事（仕事以外）があったから」が3割台と最も高い

国政選挙に行かなかった理由では、「仕事や用事（仕事以外）があったから」が31.5%と最も高く、「候補者の政策や人柄などがよくわからなかったから」21.4%、「適当な候補者も政党もなかったから」17.3%、「選挙にあまり関心がなかったから」12.5%などとなっている。なお、「いつも投票に行っている」が34.5%となっている。

地方選挙に行かなかった理由では、「仕事や用事（仕事以外）があったから」が30.8%と最も高く、「候補者の政策や人柄などがよくわからなかったから」24.1%、「適当な候補者も政党もなかったから」18.5%、「選挙にあまり関心がなかったから」14.1%などとなっている。なお、「いつも投票に行っている」が31.4%となっている。

二つの選挙を比べると、国政選挙と地方選挙それぞれの理由に大きな違いはない。

4. 投票率が低くなっている原因

◇「自分一人くらい投票しなくても、大勢に影響ないと考えている人が多いから」、「支持できる政党や候補者がいないから」、「有権者の政治への不満や不信のあらわれ」が4割台半ばと高い投票率が低くなっている原因では、「自分一人くらい投票しなくても、大勢に影響ないと考えている人が多いから」45.6%、「支持できる政党や候補者がいないから」44.6%、「有権者の政治への不満や不信のあらわれ」44.4%、「投票しても政治はよくなるから」42.5%が4割台半ばと高くなっている。「国や県、市町村の選挙管理委員会の啓発活動が足りないから」は8.5%と他の回答より低くなっている。

5. 投票率が低い現状についての意見

◇「選挙は、自分たちの代表を選ぶ機会であるから、投票率が低いことは問題だと思う」が41.5%と最も高い

投票率が低い現状についての意見では、「選挙は、自分たちの代表を選ぶ機会であるから、投票率が低いことは問題だと思う」が41.5%と最も高く、以下「政治への不満や不信感から投票率が低くなるのも当然だと思う」36.6%、「投票するかしないかは個人の自由なので、仕方がないと思う」10.0%などとなっている。

6. 投票率向上のための施策

◇「学校教育で選挙に関する教育を充実する」が41.0%と最も高い

投票率向上のための施策では、「学校教育で選挙に関する教育を充実する」が41.0%と最も高く、以下「投票所を駅やコンビニエンスストアなどもっと行きやすい場所に設置する」34.5%、「インターネットや携帯電話等を活用して、投票所に行かなくても投票できるようにする」31.0%、「国や県、市町村が選挙の意義や重要性について、もっと積極的にPRする」28.3%、「期日前投票の場所をもっと増やし、時間も延長する」20.6%などとなっている。

7. 見聞きしたことのある選挙の啓発活動

◇「新聞広告」、「県や市町村の広報紙」、「テレビスポット広告」が4割前後

見聞きしたことのある選挙の啓発活動では、「新聞広告」が43.9%、「県や市町村の広報紙」41.1%、「テレビスポット広告」39.9%が4割前後となっている。以下「啓発用ポスター」36.8%、「選挙管理委員会の街頭キャンペーン」24.4%などとなっている。

8. 投票率の向上に効果的な啓発活動

◇「テレビスポット広告」が37.9%で突出

啓発活動で効果的だと思うものでは、「テレビスポット広告」が37.9%と突出しており、以下「新聞広告」22.0%、「ヤフーサイトでのネット広告」16.9%、「県や市町村の広報紙」16.5%、「電車内での広告」16.2%などとなっている。

第4章 調査結果の詳細

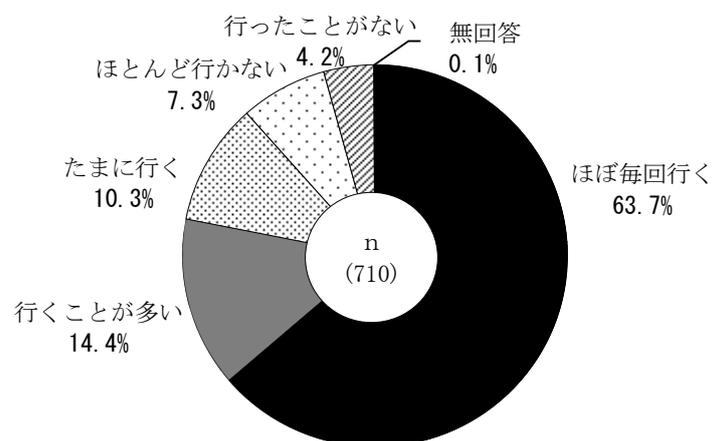
1. (1) 国政選挙への参加頻度

問1 あなたは、選挙の時に投票に行っていますか。次の中から選挙ごとにお選びください。
(○はそれぞれ1つ)

国政選挙への参加頻度では、「ほぼ毎回行く」が63.7%と最も高く、以下「行くことが多い」14.4%、「たまに行く」10.3%、「ほとんど行かない」7.3%、「行ったことがない」4.2%となっている。

「ほぼ毎回行く」(63.7%)と「行くことが多い」(14.4%)を合わせると〔投票に行く人〕が約8割となっている。一方、「ほとんど行かない」(7.3%)と「行ったことがない」(4.2%)を合わせると〔投票に行かない人〕は約1割となっている。

<図1 全体>



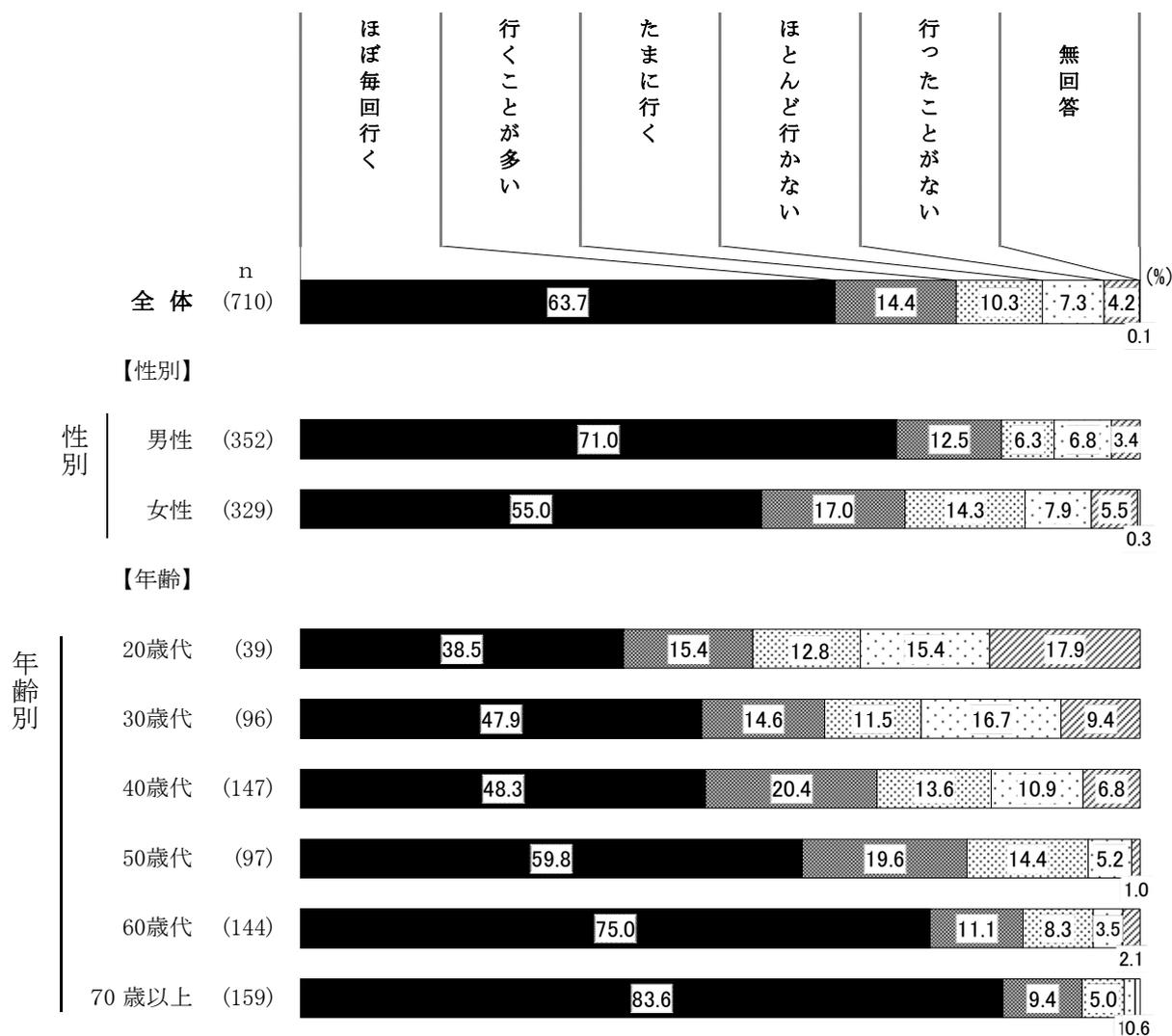
【性別】

性別でみると、「ほぼ毎回行く」は男性 71.0%、女性 55.0%と、男性で 16 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、年代が上がるほど投票頻度が高くなり、「ほぼ毎回行く」は、70歳以上で83.6%と高くなっている。一方、「投票に行かない人」は若年層ほど多く、特に20歳代では3割を超えており、「行ったことがない」は、20歳代は17.9%と最も高くなっている。

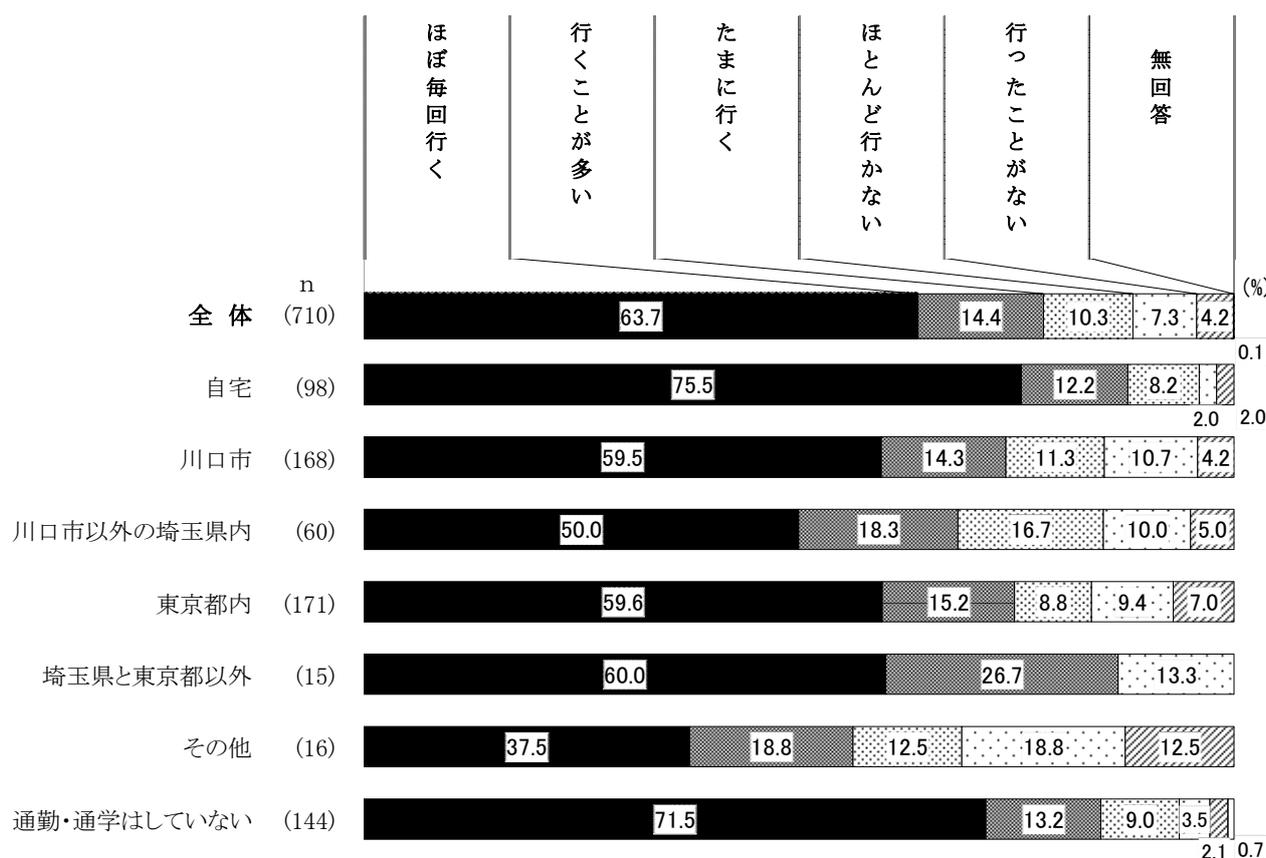
<図2 性別、年齢別>



【通勤・通学先別】

通勤・通学先別でみると、「ほぼ毎回行く」は、“自宅”で75.5%と最も高くなっている。[投票に行く人]でみると、“自宅”と“通勤・通学はしていない”が8割台、“川口市”と“東京都内”では7割前後となっている。「行ったことがない」は、“東京都内”が約1割と最も高くなっている。

<図3 通勤・通学先別>



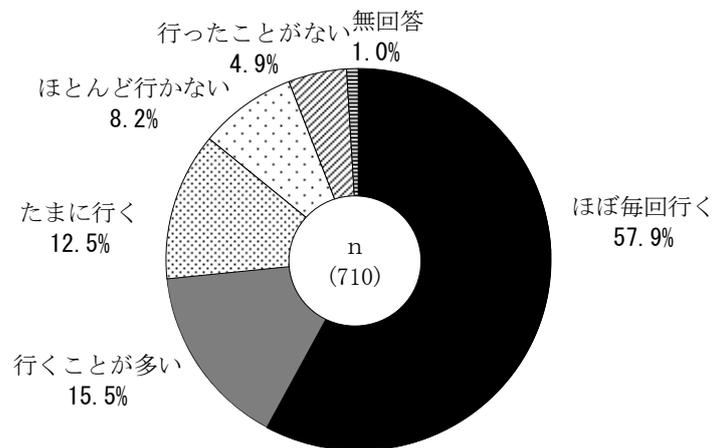
1. (2) 地方選挙への参加頻度

問1 あなたは、選挙の時に投票に行っていますか。次の中から選挙ごとにお選びください。
(○はそれぞれ1つ)

地方選挙への参加頻度では、「ほぼ毎回行く」が57.9%と最も高く、以下「行くことが多い」15.5%、「たまに行く」12.5%、「ほとんど行かない」8.2%、「行ったことがない」4.9%となっている。

「ほぼ毎回行く」(57.9%)と「行くことが多い」(15.5%)を合わせると〔投票に行く人〕が7割半ばとなっている。一方、「ほとんど行かない」(8.2%)と「行ったことがない」(4.9%)を合わせると〔投票に行かない人〕は1割を超える。

<図4 全体>



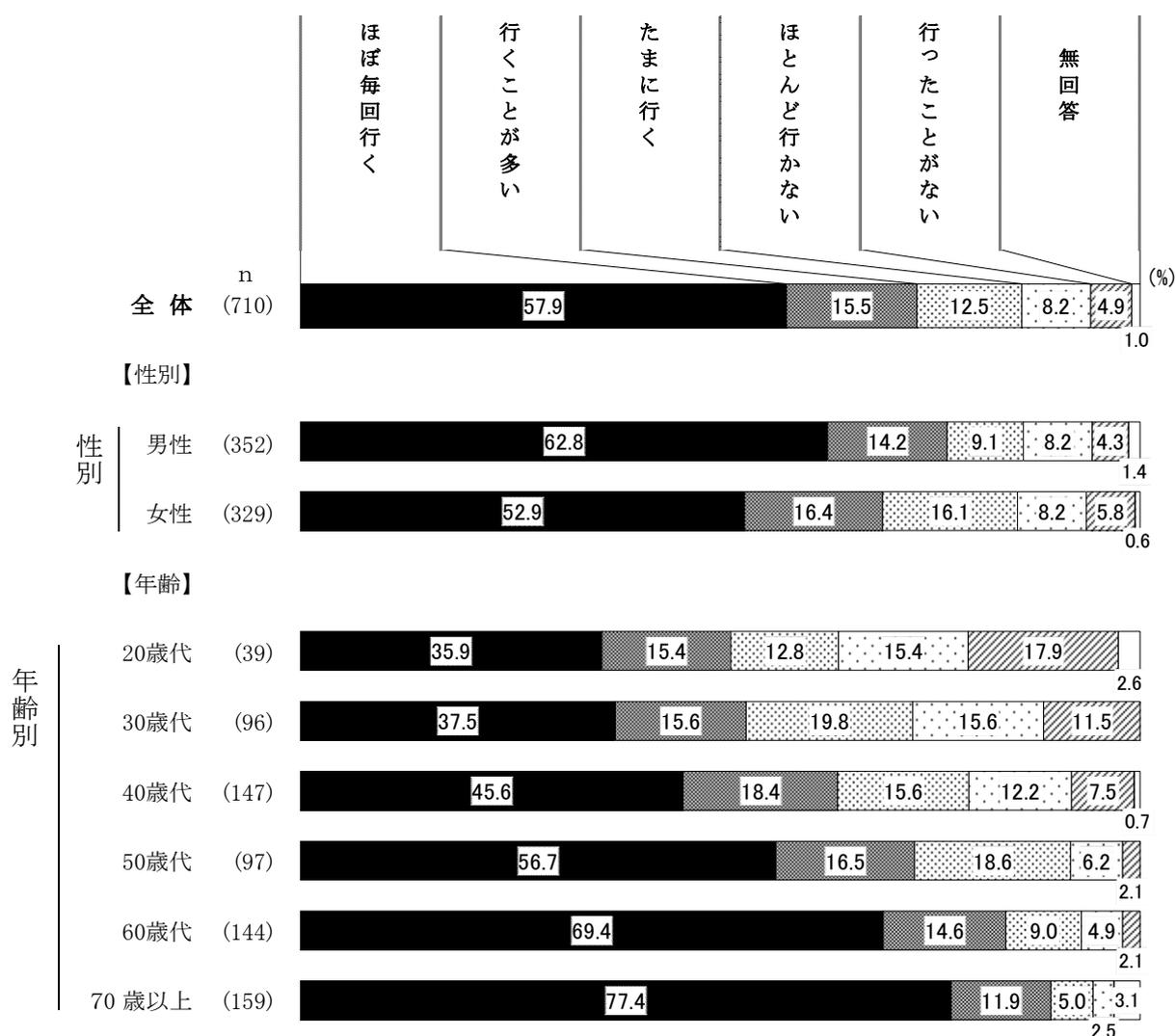
【性別】

性別で見ると、「ほぼ毎回行く」は男性 62.8%、女性 52.9%と、男性の方が女性よりも約 10 ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、年代が上がるほど投票頻度が高くなり、「ほぼ毎回行く」は、70歳以上が77.4%と高くなっている。「行ったことがない」は、20歳代で17.9%と最も高くなっている。

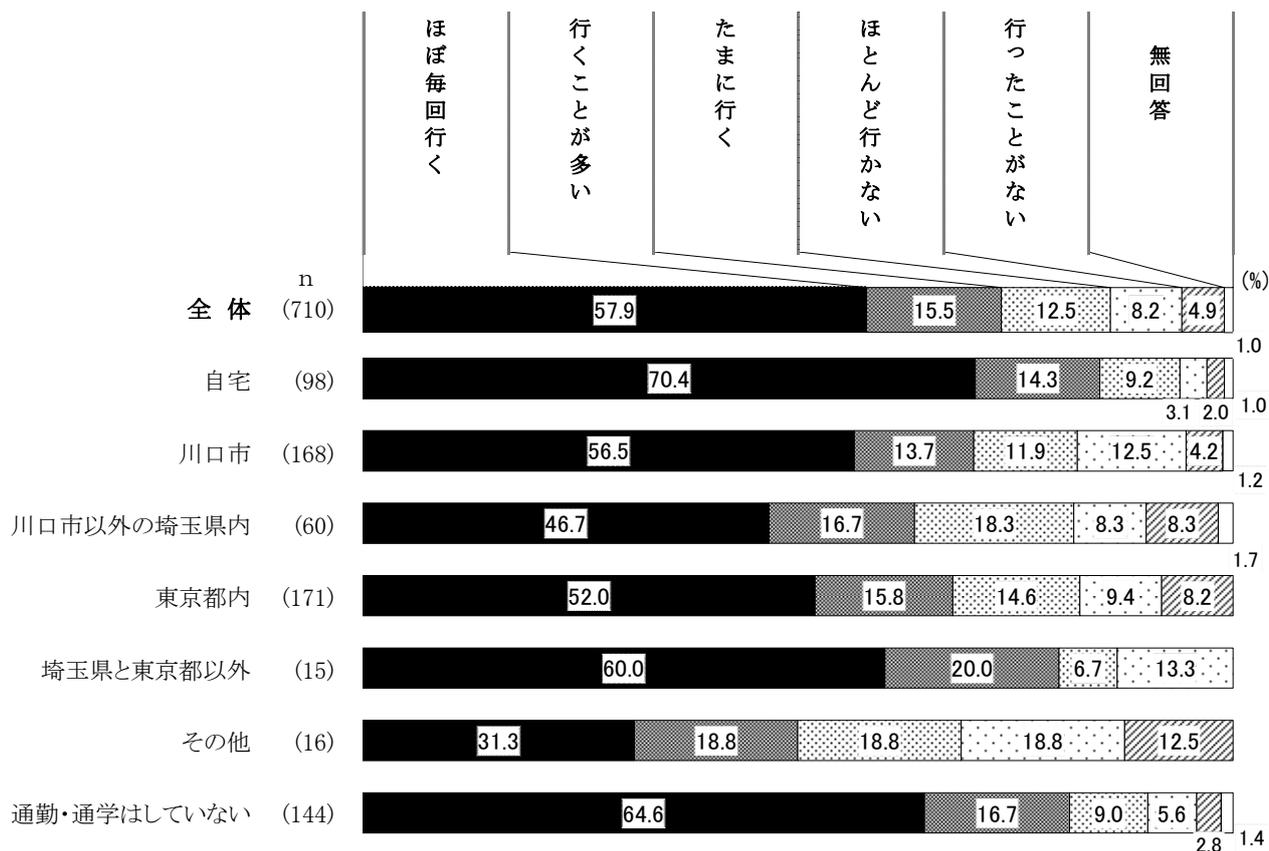
<図5 性別・年齢別>



【通勤・通学先別】

通勤・通学先別でみると、「ほぼ毎回行く」は、“自宅”が7割と最も高くなっている。「行ったことがない」は、“川口市以外の埼玉県内”“東京都内”が約1割と高くなっている。

<図6 通勤・通学先別>

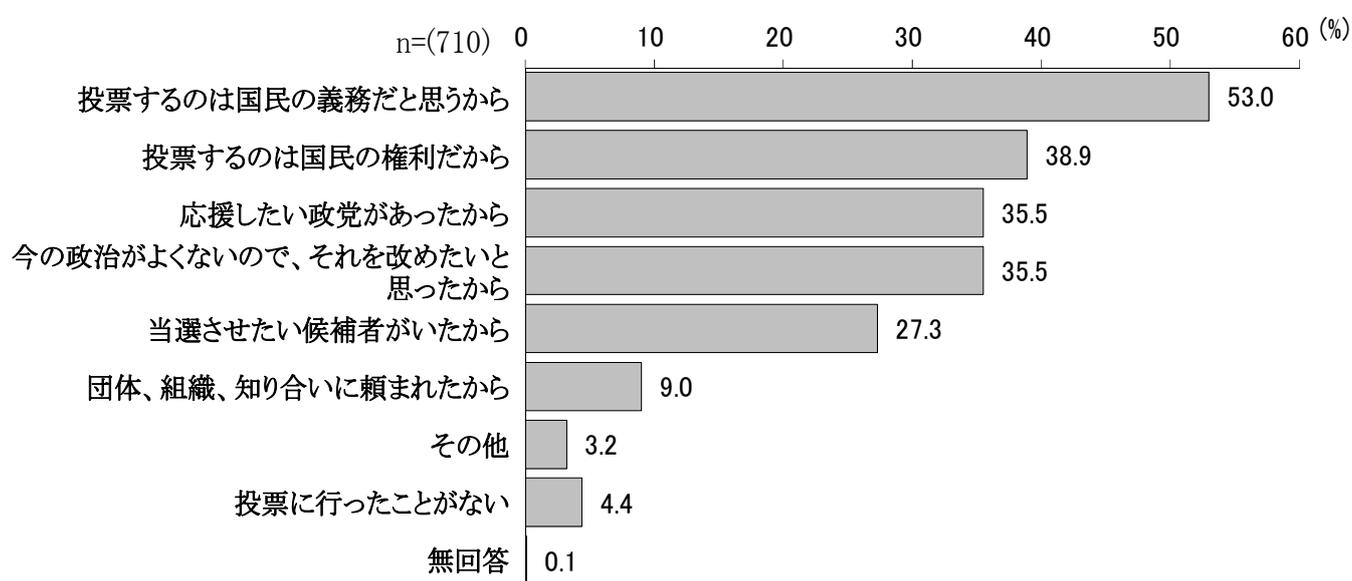


2. (1) 国政選挙に行った理由

問2 あなたが、過去に投票に行った理由は何ですか。次の中から選挙ごとにお選びください。(〇はそれぞれいくつでも)

国政選挙に行った理由では、「投票するのは国民の義務だと思うから」が53.0%と最も高く、以下「投票するのは国民の権利だから」38.9%、「応援したい政党があったから」、「今の政治がよくないので、それを改めたいと思ったから」がともに35.5%、「当選させたい候補者がいたから」27.3%などとなっている。

<図7 全体>



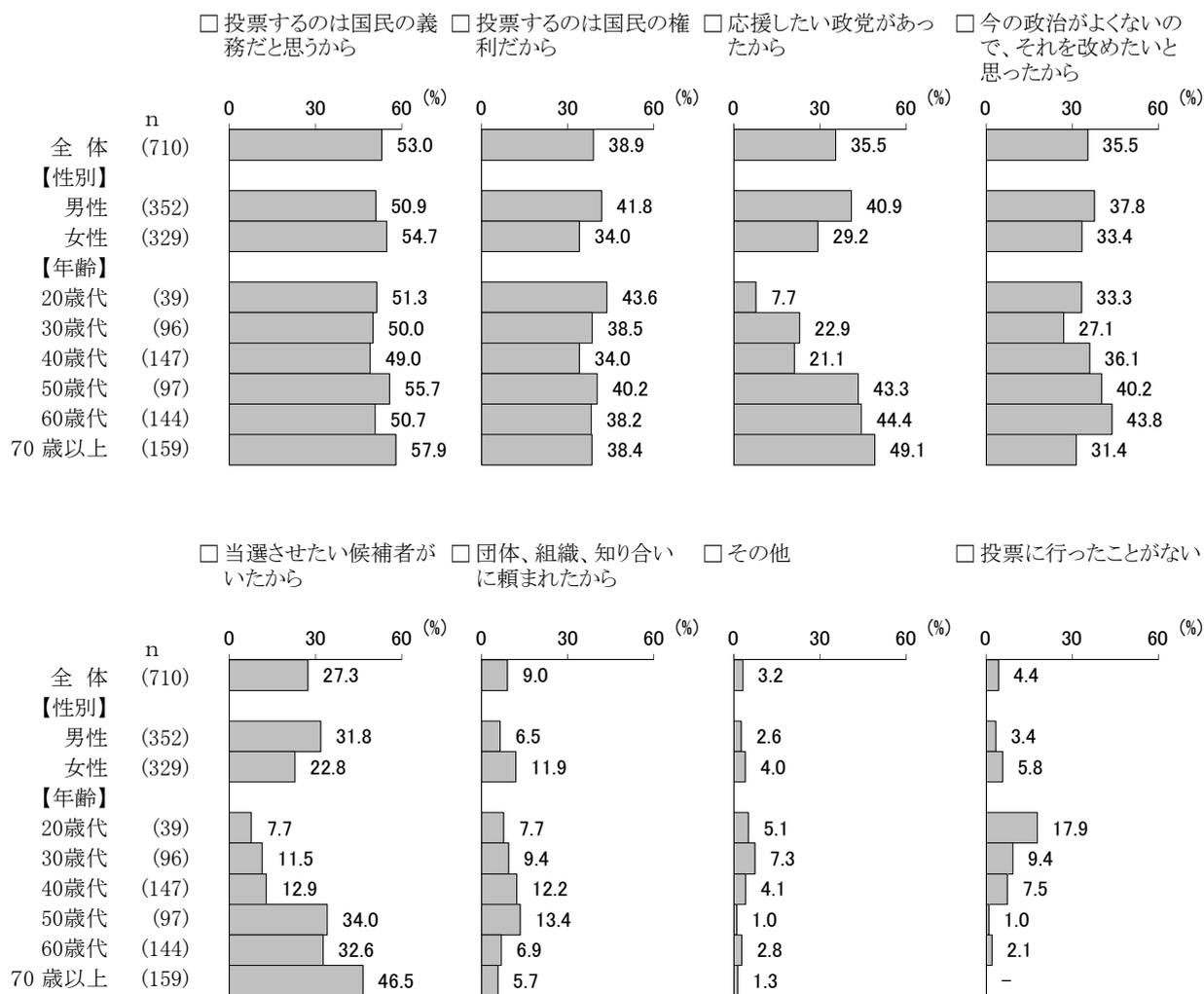
【性別】

性別でみると、「投票するのは国民の義務だと思うから」は、女性（54.7%）の方が男性（50.9%）よりも3.8ポイント高くなっている。「応援したい政党があったから」は11.7ポイント、「当選させたい候補者がいたから」9ポイント、「投票するのは国民の権利だから」7.8ポイント、「今の政治がよくないので、それを改めたいと思ったから」4.4ポイント、それぞれ男性の方が女性より高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「投票するのは国民の義務だと思うから」はすべての年代で5割前後、「投票するのは国民の権利だから」はすべての年代で3割を超え、20歳代、50歳代で4割を超えている。「当選させたい候補者がいたから」、「応援したい政党があったから」は、50歳代以上で多い。

<図8 性別・年齢別>

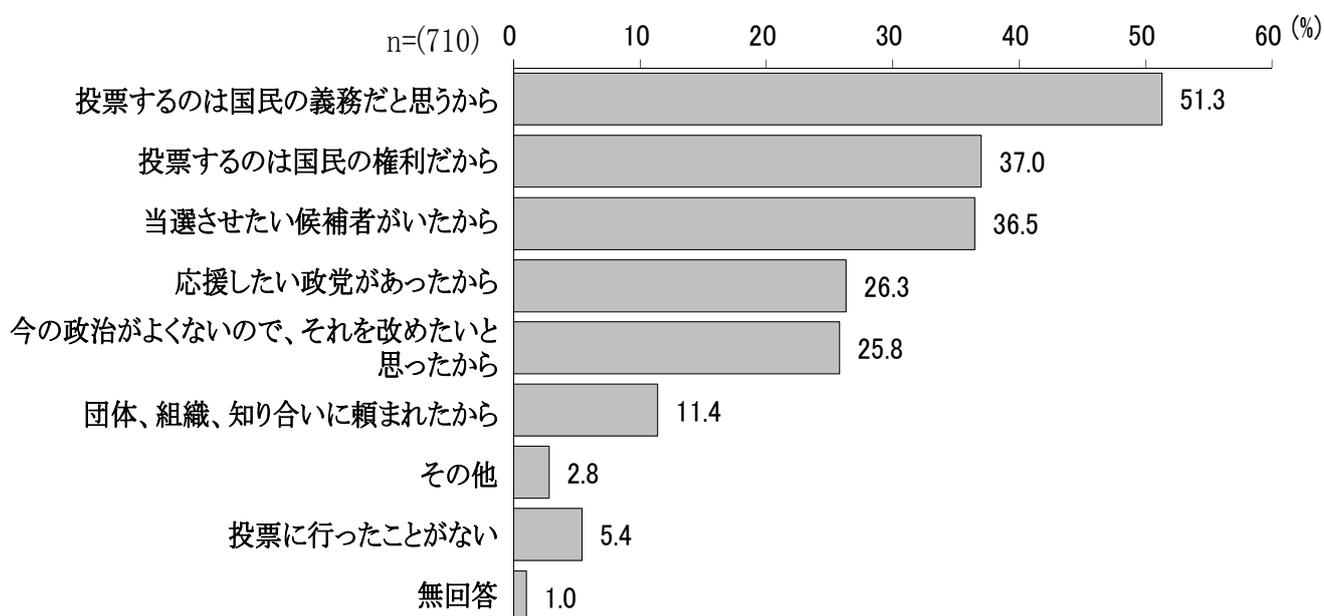


2. (2) 地方選挙に行った理由

問2 あなたが、過去に投票に行った理由は何ですか。次の中から選挙ごとにお選びください。(〇はそれぞれいくつでも)

地方選挙に行った理由では、「投票するのは国民の義務だと思うから」が51.3%と最も高く、以下「投票するのは国民の権利だから」(37.0%)、「当選させたい候補者がいたから」(36.5%)が3割台、「応援したい政党があったから」(26.3%)、「今の政治がよくないので、それを改めたいと思ったから」(25.8%)が2割台で続いている。

<図9 全体>



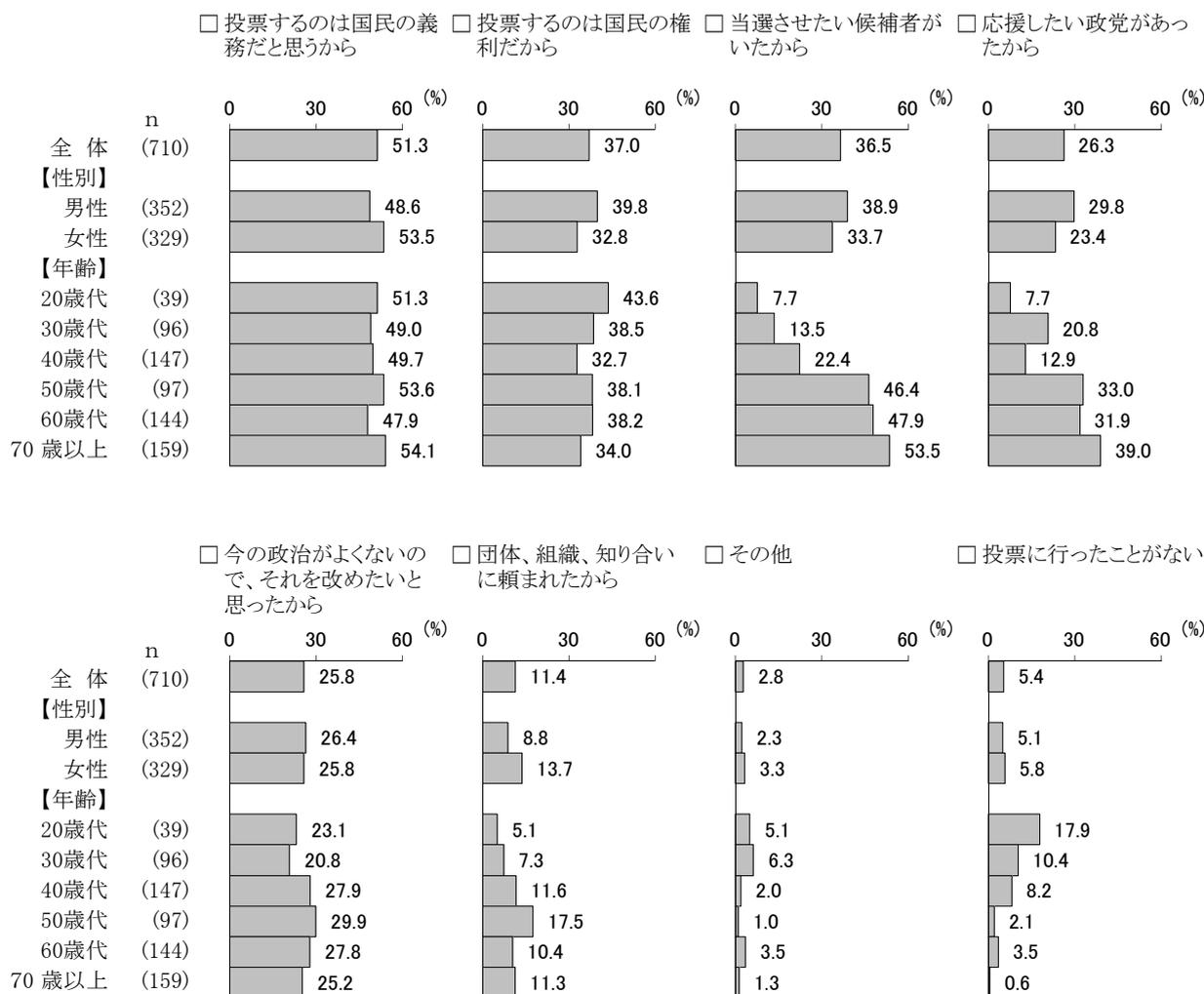
【性別】

性別でみると、「投票するのは国民の義務だと思うから」は、女性の方が男性よりも4.9ポイント高くなっている。「投票するのは国民の権利だから」は7ポイント、「応援したい政党があったから」6.4ポイント、「当選させたい候補者がいたから」5.2ポイント、それぞれ男性の方が女性より高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「投票するのは国民の義務だと思うから」はすべての年代で5割前後、「投票するのは国民の権利だから」はすべての年代で3割を超え、20歳代で4割を超えている。「当選させたい候補者がいたから」、「応援したい政党があったから」は、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

<図10 性別・年齢別>

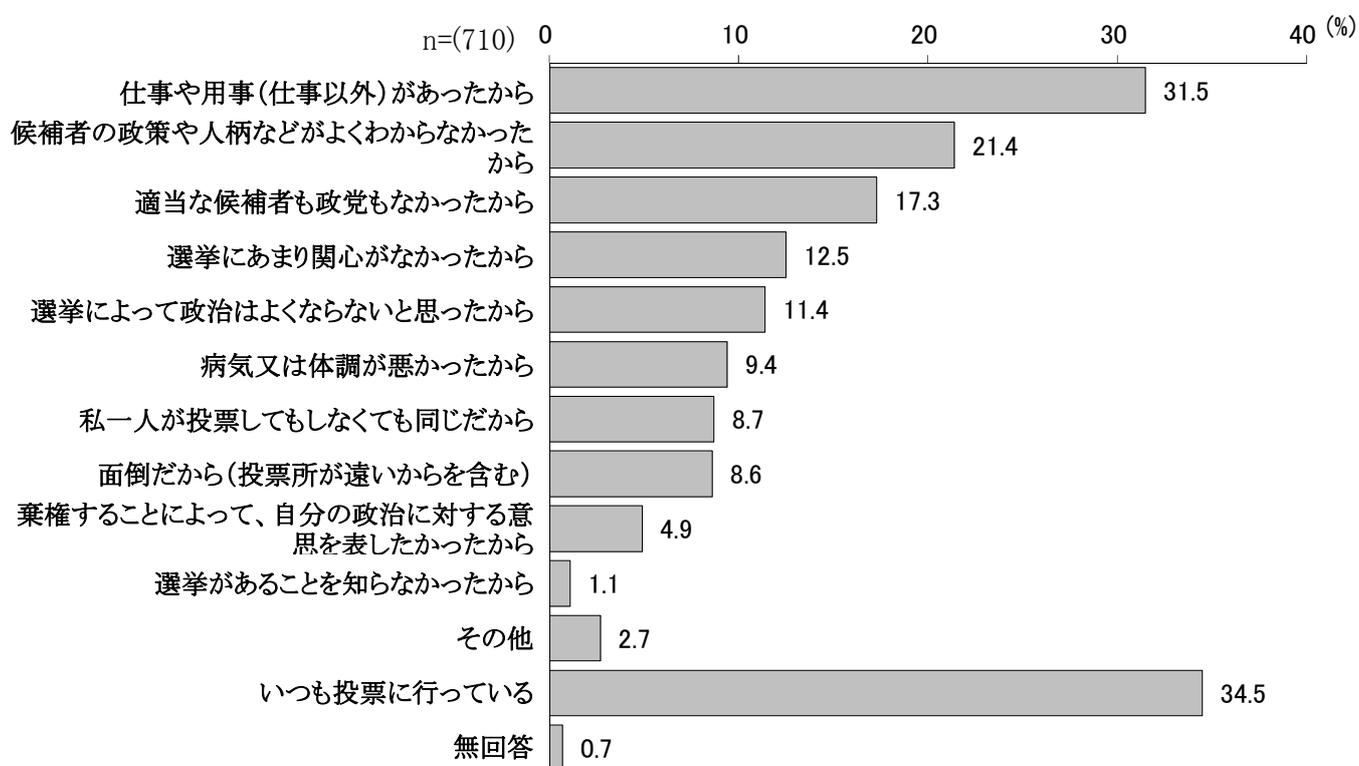


3. (1) 国政選挙に行かなかった理由

問3 あなたが、過去に投票に行かなかった理由は何ですか。次の中から選挙ごとにお選びください。(〇はそれぞれいくつでも)

国政選挙に行かなかった理由では、「仕事や用事（仕事以外）があったから」が31.5%と最も高く、「候補者の政策や人柄などがよくわからなかったから」21.4%、「適当な候補者も政党もなかったから」17.3%、「選挙にあまり関心がなかったから」12.5%などとなっている。なお、「いつも投票に行っている」が34.5%となっている。

<図11 全体>



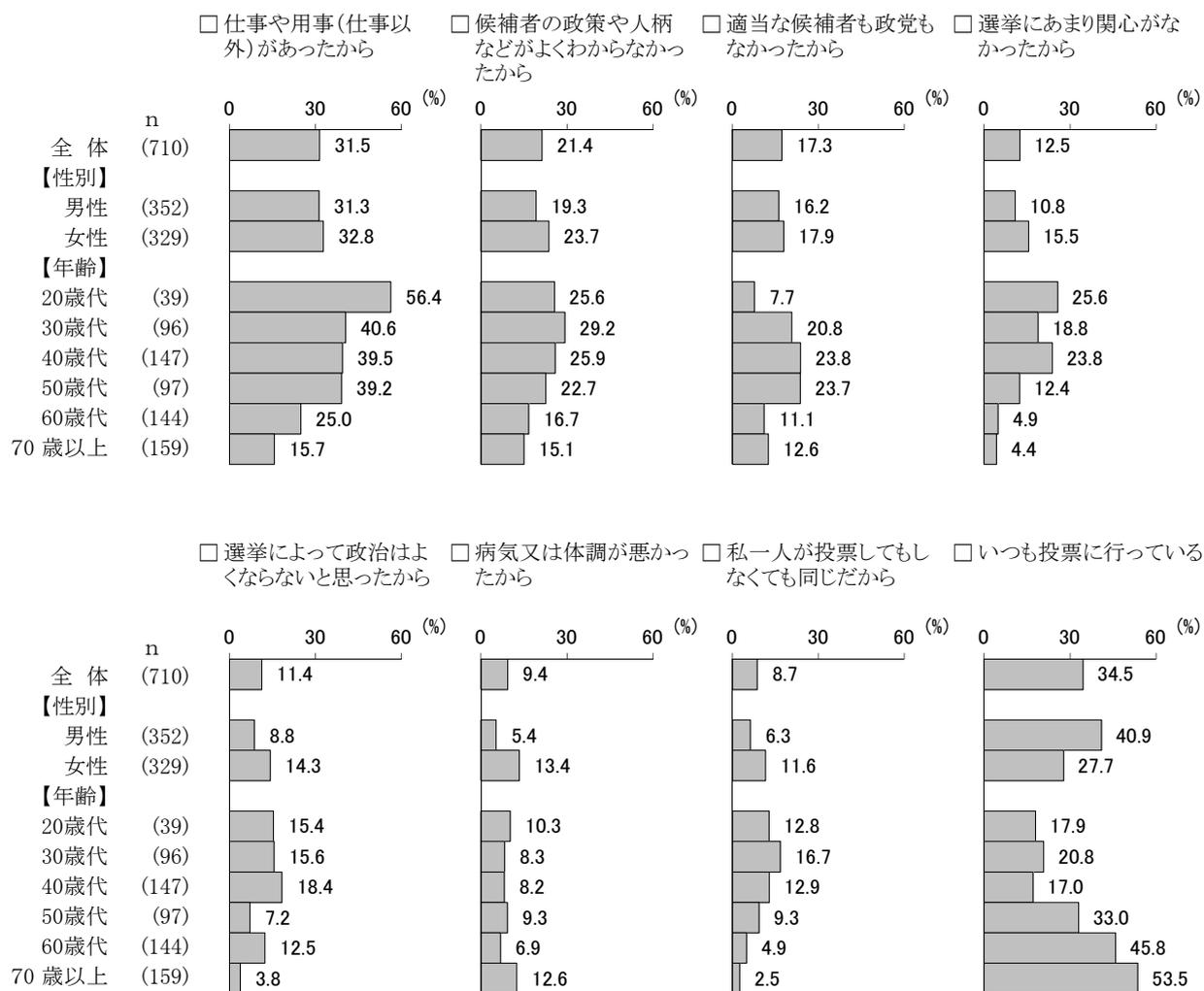
【性別】（上位7項目+「いつも投票に行っている」）

性別でみると、すべての項目で女性の回答が男性より高く、「病気又は体調が悪かったから」は、女性の方が男性よりも8ポイント高くなっている。「いつも投票に行っている」は男性の方が女性よりも13ポイント高い。

【年齢別】（上位7項目+「いつも投票に行っている」）

年齢別でみると、「仕事や用事（仕事以外）があったから」は、おおむね年代が下がるほど高い傾向がみられ、20歳代で5割台半ばと高く、30～50歳代で約4割と、最も多い理由となっている。「選挙にあまり関心がなかったから」、「選挙によって政治はよくならないと思ったから」、「私一人が投票してもしなくても同じだから」は、70歳以上が他の年代に比べて低くなっている。「いつも投票に行っている」は50歳代以上で年代が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上で5割を超えている。

<図12 性別・年齢別>

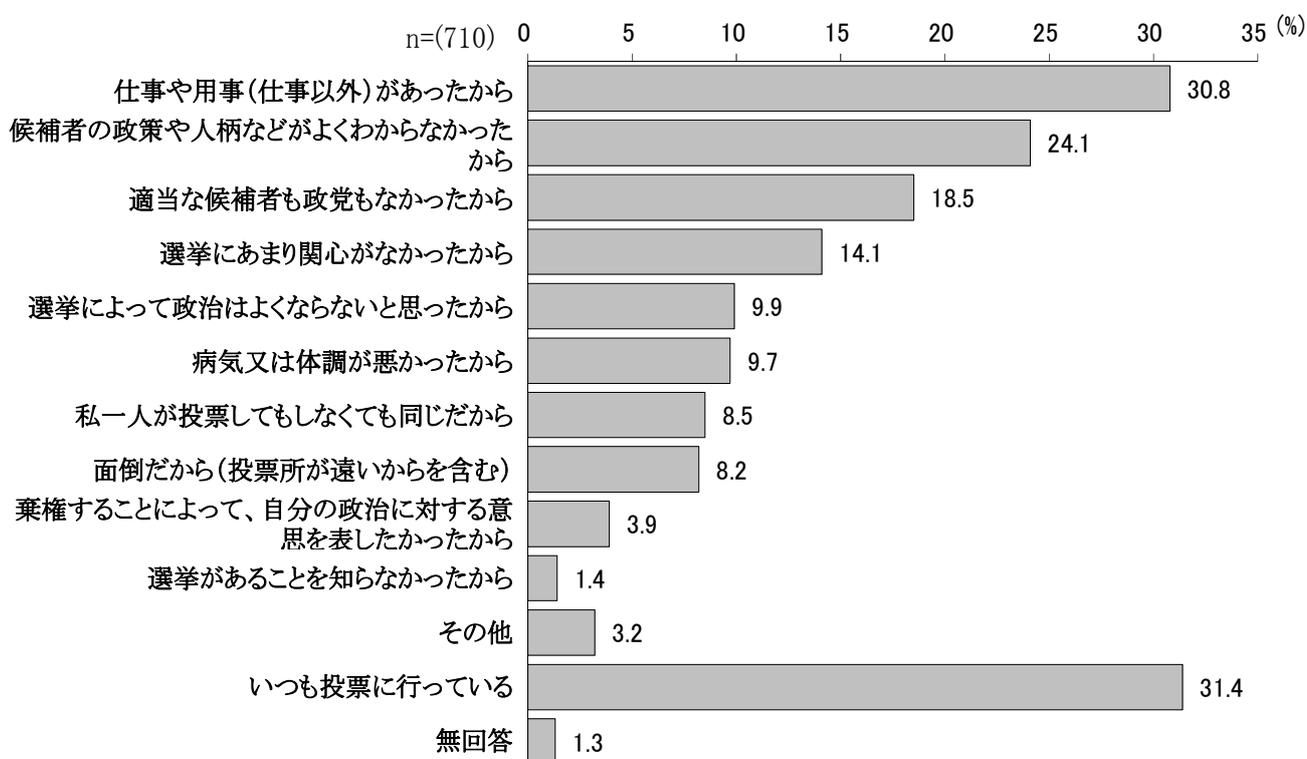


3. (2) 地方選挙に行かなかった理由

問3 あなたが、過去に投票に行かなかった理由は何ですか。次の中から選挙ごとにお選びください。(〇はそれぞれいくつでも)

地方選挙に行かなかった理由では、「仕事や用事(仕事以外)があったから」が30.8%と最も高く、「候補者の政策や人柄などがよくわからなかったから」24.1%、「適当な候補者も政党もなかったから」18.5%、「選挙にあまり関心がなかったから」14.1%などとなっている。なお、「いつも投票に行っている」が31.4%となっている。

<図13 全体>



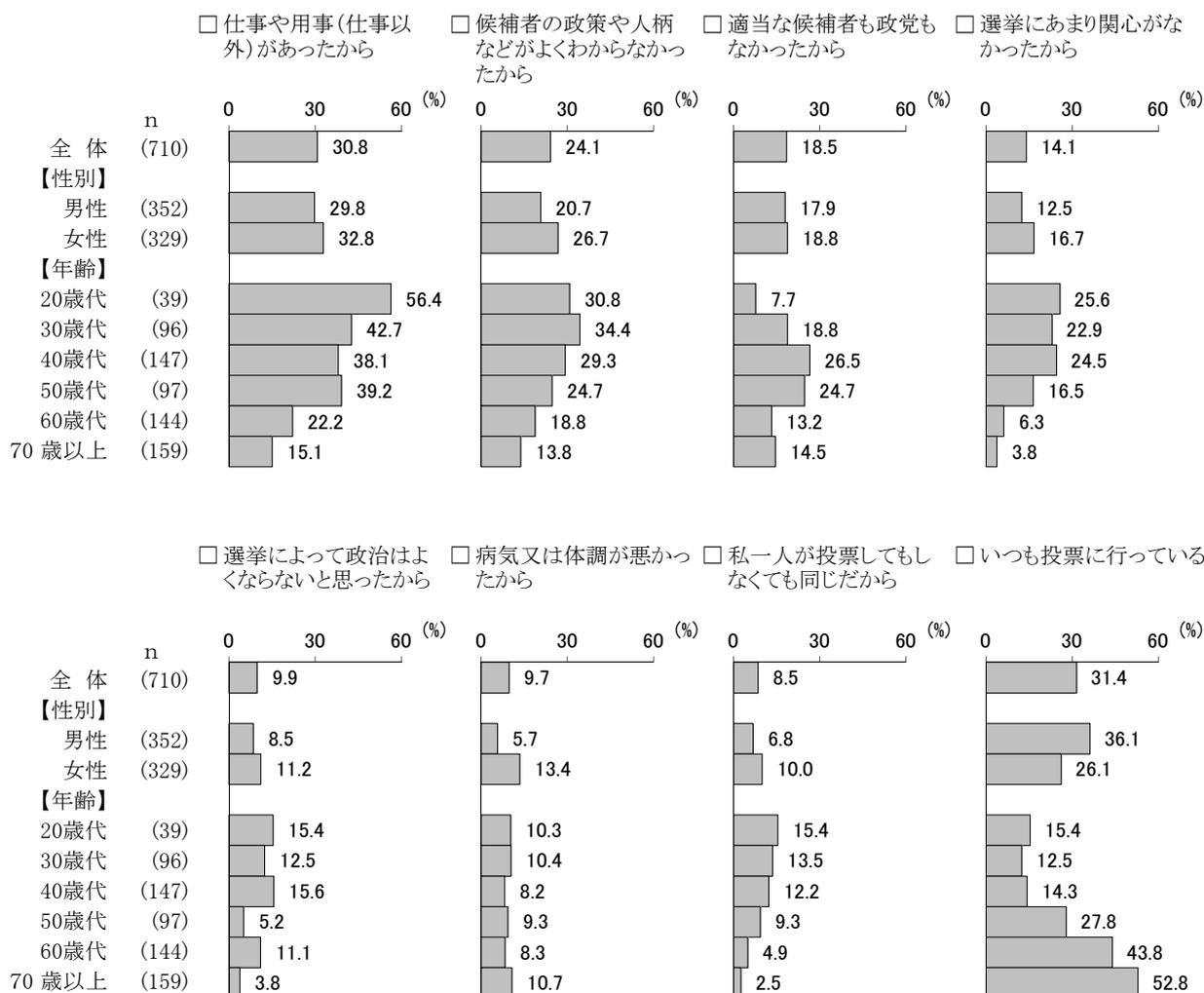
【性別】（上位7項目+「いつも投票に行っている」）

性別でみると、「適当な候補者も政党もなかったから」は、性別による大きな違いはみられないが、他の項目では女性の回答が男性より高く、「病気又は体調が悪かったから」は女性の方が男性よりも7.7ポイント高くなっている。「いつも投票に行っている」は男性の方が女性よりも10ポイント高い。

【年齢別】（上位7項目+「いつも投票に行っている」）

年齢別でみると、「仕事や用事（仕事以外）があったから」は、おおむね年代が下がるほど高い傾向がみられ、20歳代が5割台半ばと高くなっている。「候補者の政策や人柄などがよくわからなかったから」、「選挙にあまり関心がなかったから」、「私一人が投票してもしなくても同じだから」でも同様の傾向がみられる。「いつも投票に行っている」は50歳代以上で年代が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上で5割を超えている。

<図14 性別・年齢別>

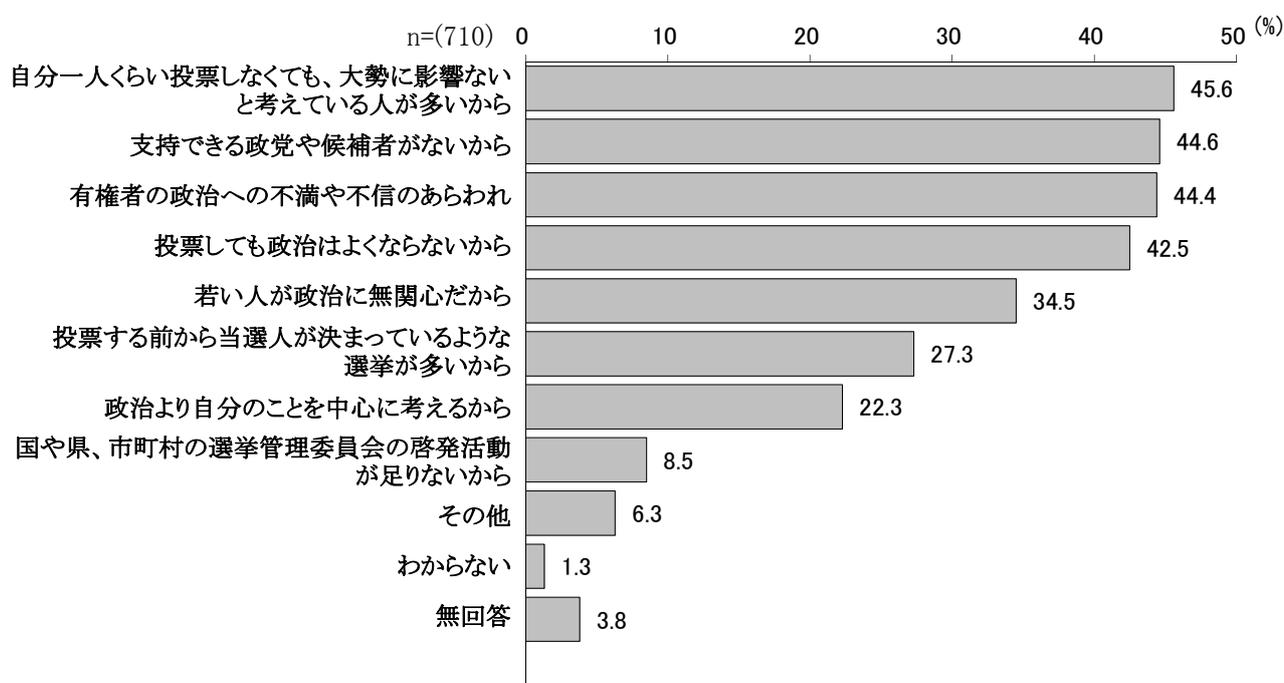


4. 投票率が低くなっている原因

問4 全国的に選挙の投票率が低いことが問題になっています。あなたは、投票率が低くなっている理由は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

投票率が低くなっている原因では、「自分一人くらい投票しなくても、大勢に影響ないと考えている人が多いから」45.6%、「支持できる政党や候補者がいないから」44.6%、「有権者の政治への不満や不信のあらわれ」44.4%「投票しても政治はよくなるから」42.5%が4割台半ばと高くなっている。「国や県、市町村の選挙管理委員会の啓発活動が足りないから」は8.5%と他の回答より低くなっている。

<図15 全体>



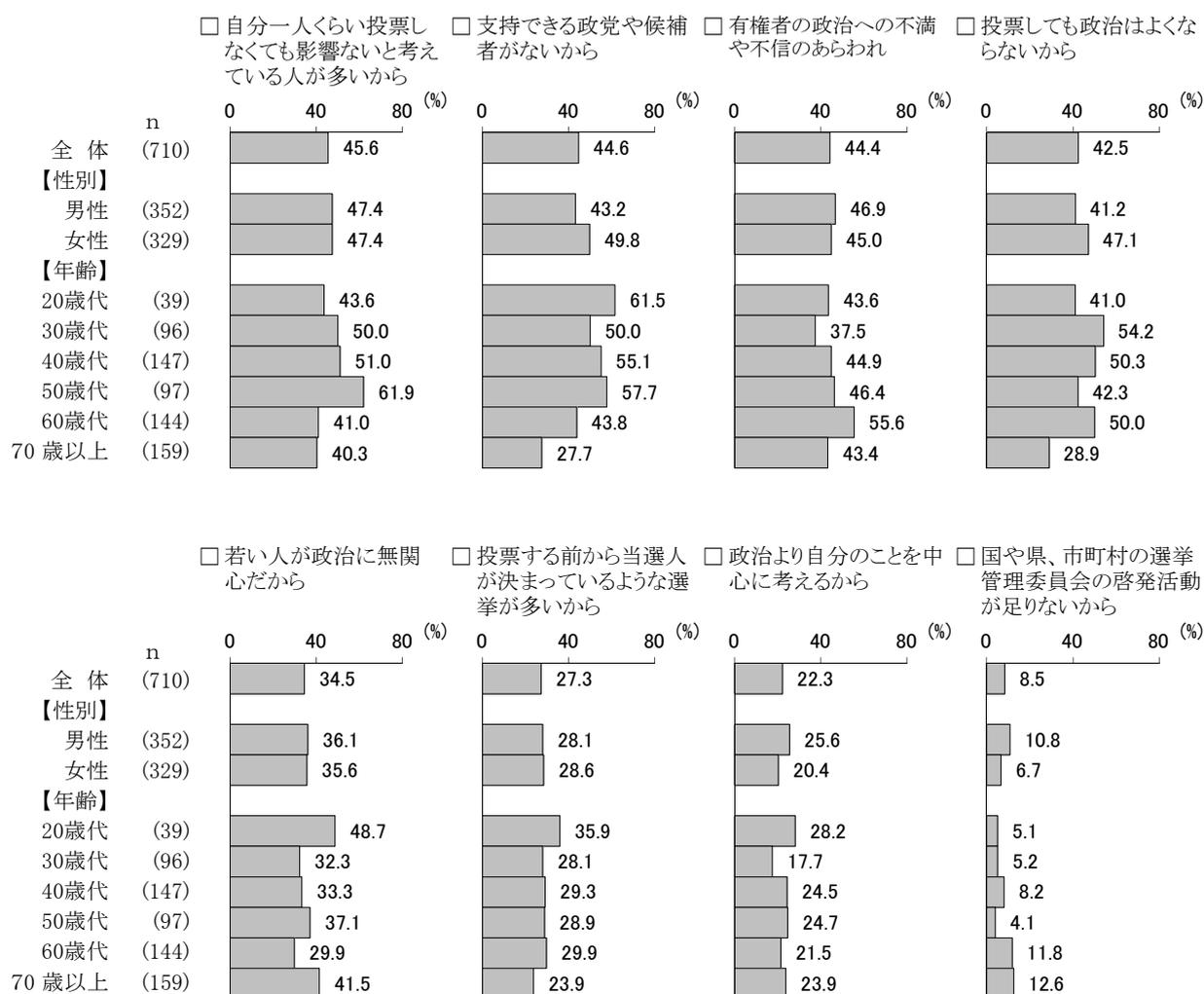
【性別】

性別でみても大きな違いはないが、その中でも「支持できる政党や候補者がいないから」は、女性の方が男性よりも6.6ポイント高くなっている。「政治より自分のことを中心に考えるから」、「国や県、市町村の選挙管理委員会の啓発活動が足りないから」は、男性の方が女性よりも高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「自分一人くらい投票しなくても、大勢に影響ないと考えている人が多いから」は、50歳代が61.9%と高くなっている。「支持できる政党や候補者がいないから」は50歳代以下で5割を超えて、「有権者の政治への不満や不信のあらわれ」は60歳代が55.6%と他の年代と比べて高くなっている。「若い人が政治に無関心だから」は、20歳代が48.7%と最も高く、次いで70歳代以上で14.5%となっている。

<図16 性別・年齢別>

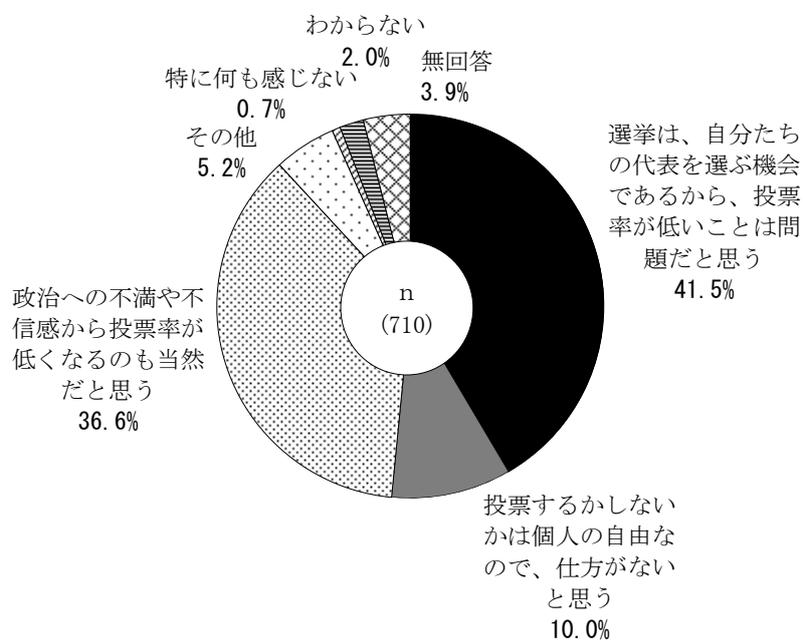


5. 投票率が低い現状についての意見

問5 最近の選挙での投票率が低い現状について、あなたはどのように思いますか。
(〇は1つ)

投票率が低い現状についての意見では、「選挙は、自分たちの代表を選ぶ機会であるから、投票率が低いことは問題だと思う」が41.5%と最も高く、以下「政治への不満や不信感から投票率が低くなるのも当然だと思う」36.6%、「投票するかしないかは個人の自由なので、仕方がないと思う」10.0%などとなっている。

<図17 全体>



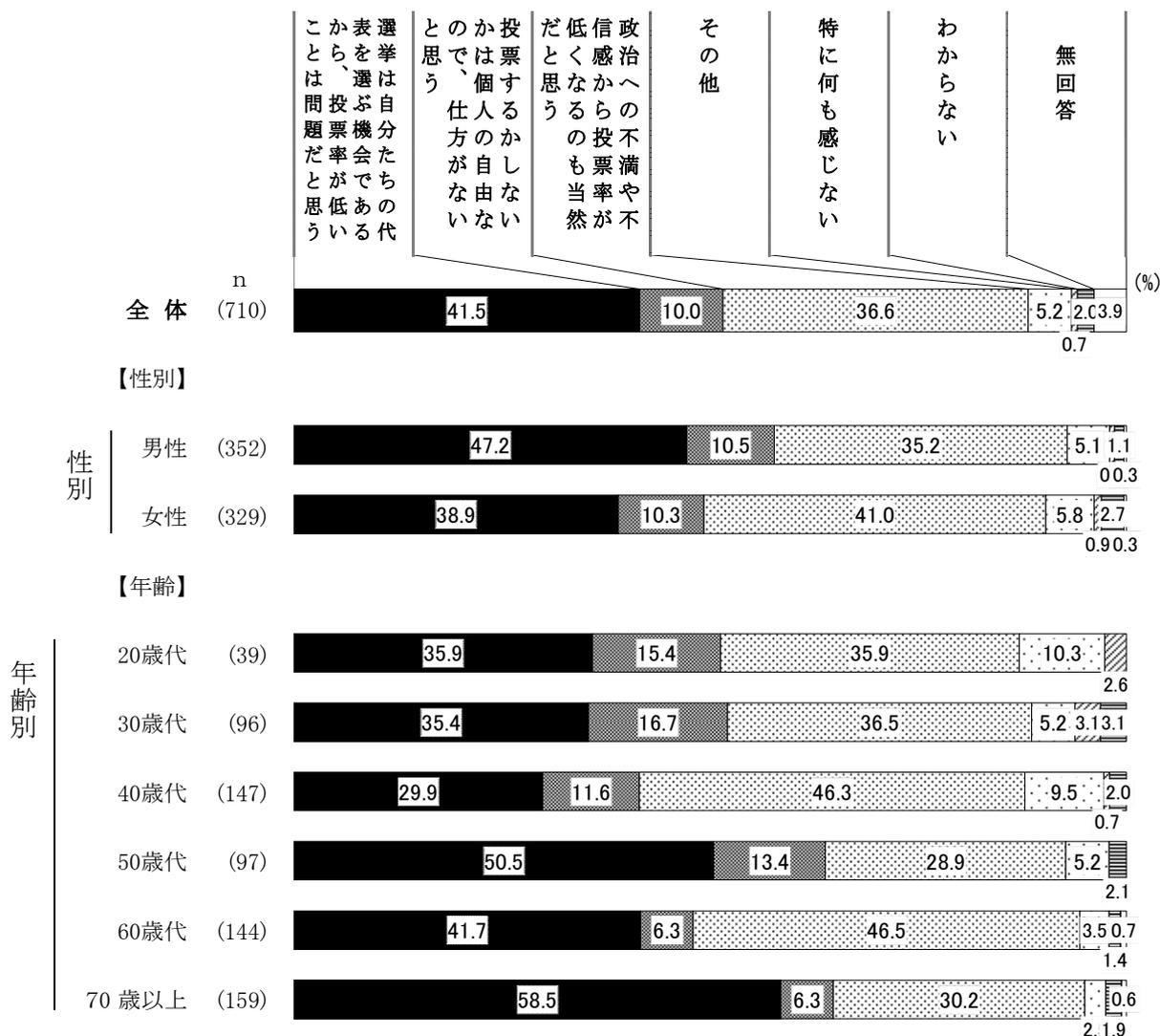
【性別】

性別でみると、「選挙は、自分たちの代表を選ぶ機会であるから、投票率が低いことは問題だと思う」は、男性の方が女性よりも8.3ポイント高くなっている。「政治への不満や不信感から投票率が低くなるのも当然だと思う」は、女性の方が男性よりも5.8ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「選挙は、自分たちの代表を選ぶ機会であるから、投票率が低いことは問題だと思う」は、70歳以上が58.5%と最も高くなっている。「投票するかしないかは個人の自由なので、仕方がないと思う」は、おおむね年代が下がるほど高い傾向がみられる。「政治への不満や不信感から投票率が低くなるのも当然だと思う」は、40歳代、60歳代が4割台半ばと最も高くなっている。

<図18 性別・年齢別>

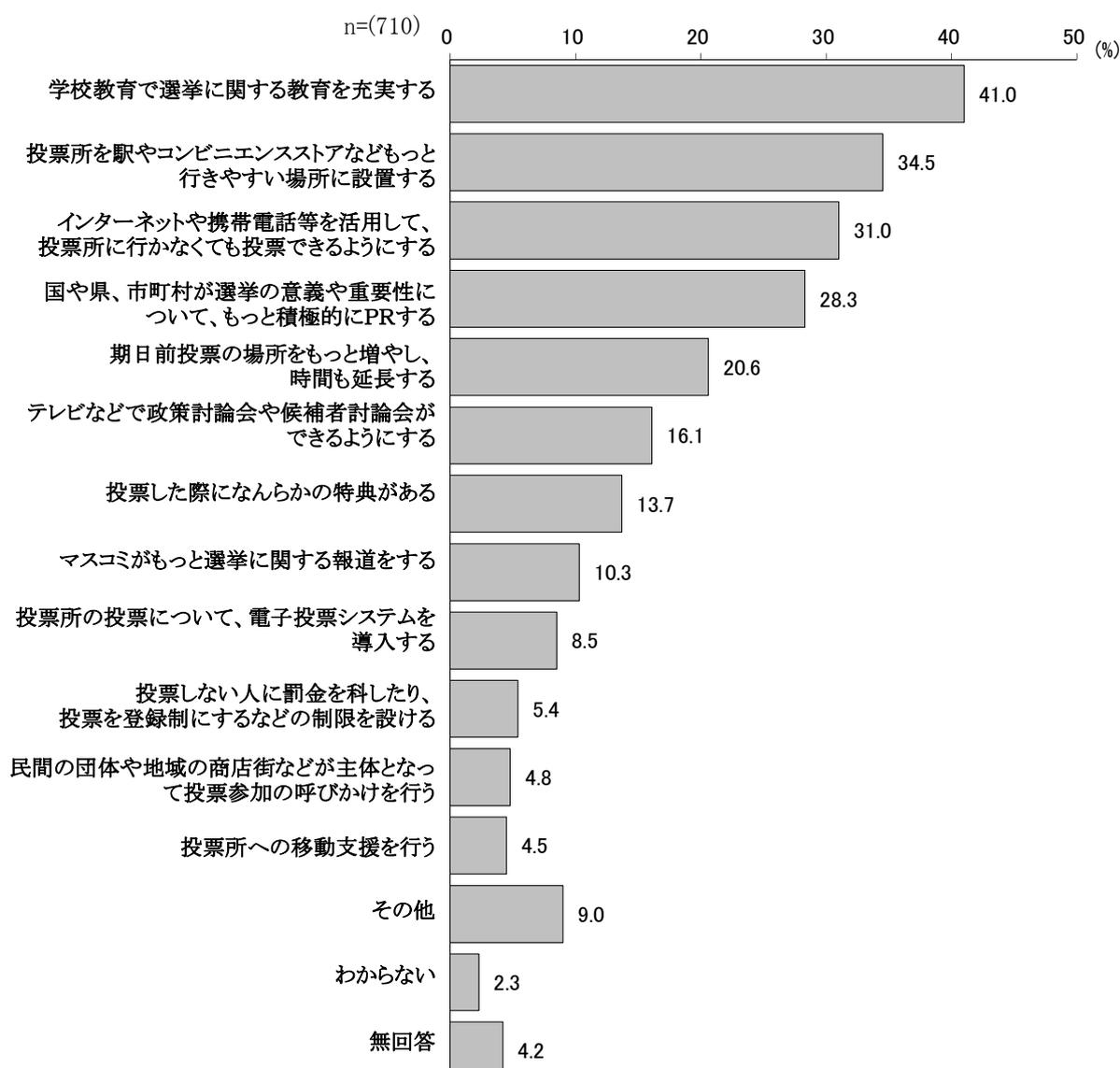


6. 投票率向上のための施策

問6 今後、国民の選挙への関心を高め、投票率の向上を図るには、選挙制度などを含め、どうすればよいと思いますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。
(〇は3つまで)

投票率向上のための施策では、「学校教育で選挙に関する教育を充実する」が41.0%と最も高く、以下「投票所を駅やコンビニエンスストアなどもっと行きやすい場所に設置する」34.5%、「インターネットや携帯電話等を活用して、投票所に行かなくても投票できるようにする」31.0%、「国や県、市町村が選挙の意義や重要性について、もっと積極的にPRする」28.3%、「期日前投票の場所をもっと増やし、時間も延長する」20.6%などとなっている。

<図 20 全体>



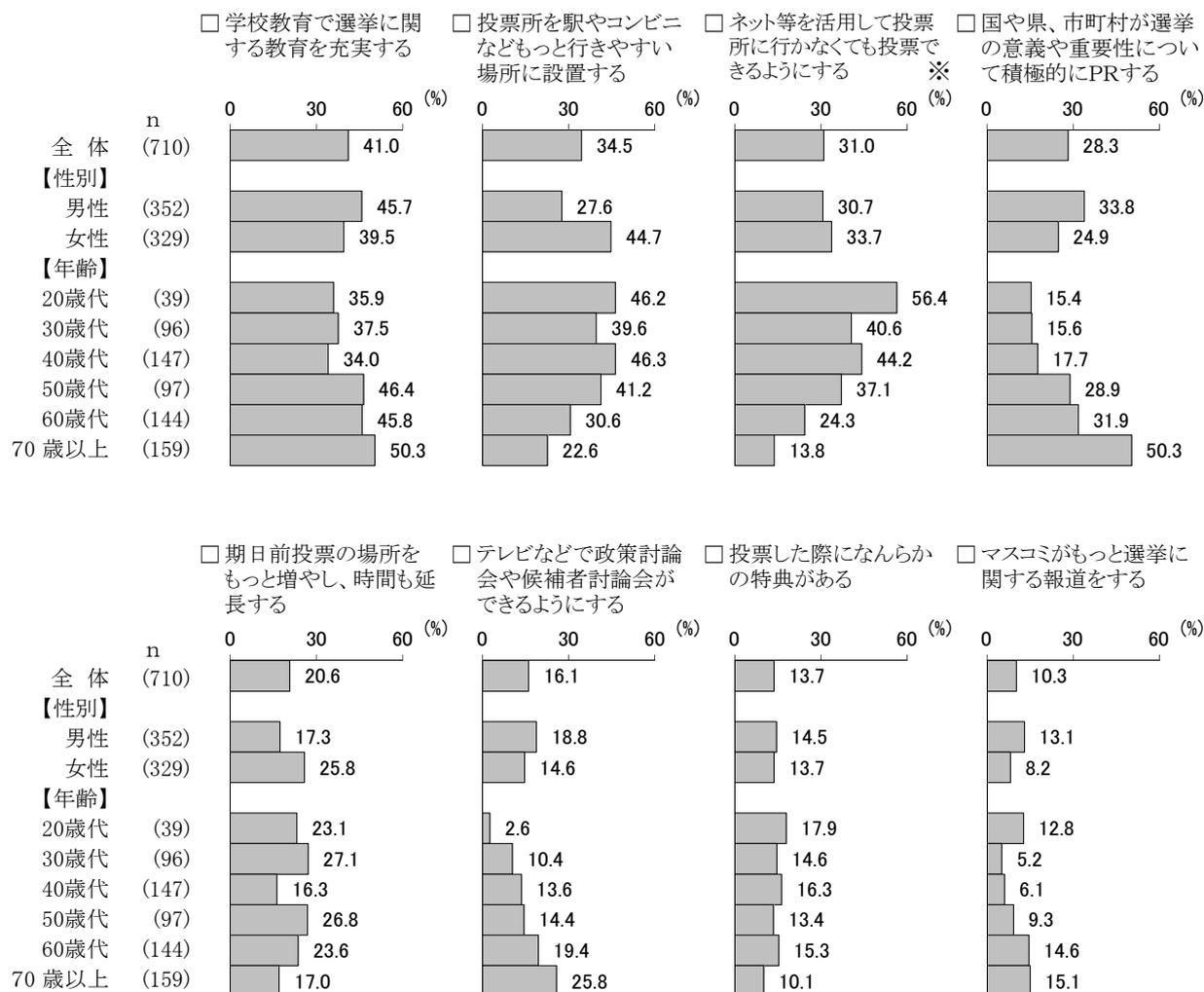
【性別】（上位8項目）

性別でみると、「投票所を駅やコンビニエンスストアなどもっと行きやすい場所に設置する」は、女性の方が男性よりも17.1ポイント高くなっている。「国や県、市町村が選挙の意義や重要性についてもっと積極的にPRする」は、男性の方が女性よりも8.9ポイント高くなっている。「投票した際になんらかの特典がある」は、性別による大きな違いはみられない。

【年齢別】（上位8項目）

年齢別でみると、「投票所を駅やコンビニエンスストアなどもっと行きやすい場所に設置する」、「インターネットや携帯電話等を活用して、投票所に行かなくても投票できるようにする」、「期日前投票の場所をもっと増やし、時間も延長する」などの〔投票のしやすさ〕は20～50歳代で高くなっている。「学校教育で選挙に関する教育を充実する」、「国や県、市町村が選挙の意義や重要性について、もっと積極的にPRする」などの〔選挙に関する教育・情報発信〕は70歳以上で高くなっている。

<図21 性別・年齢別>



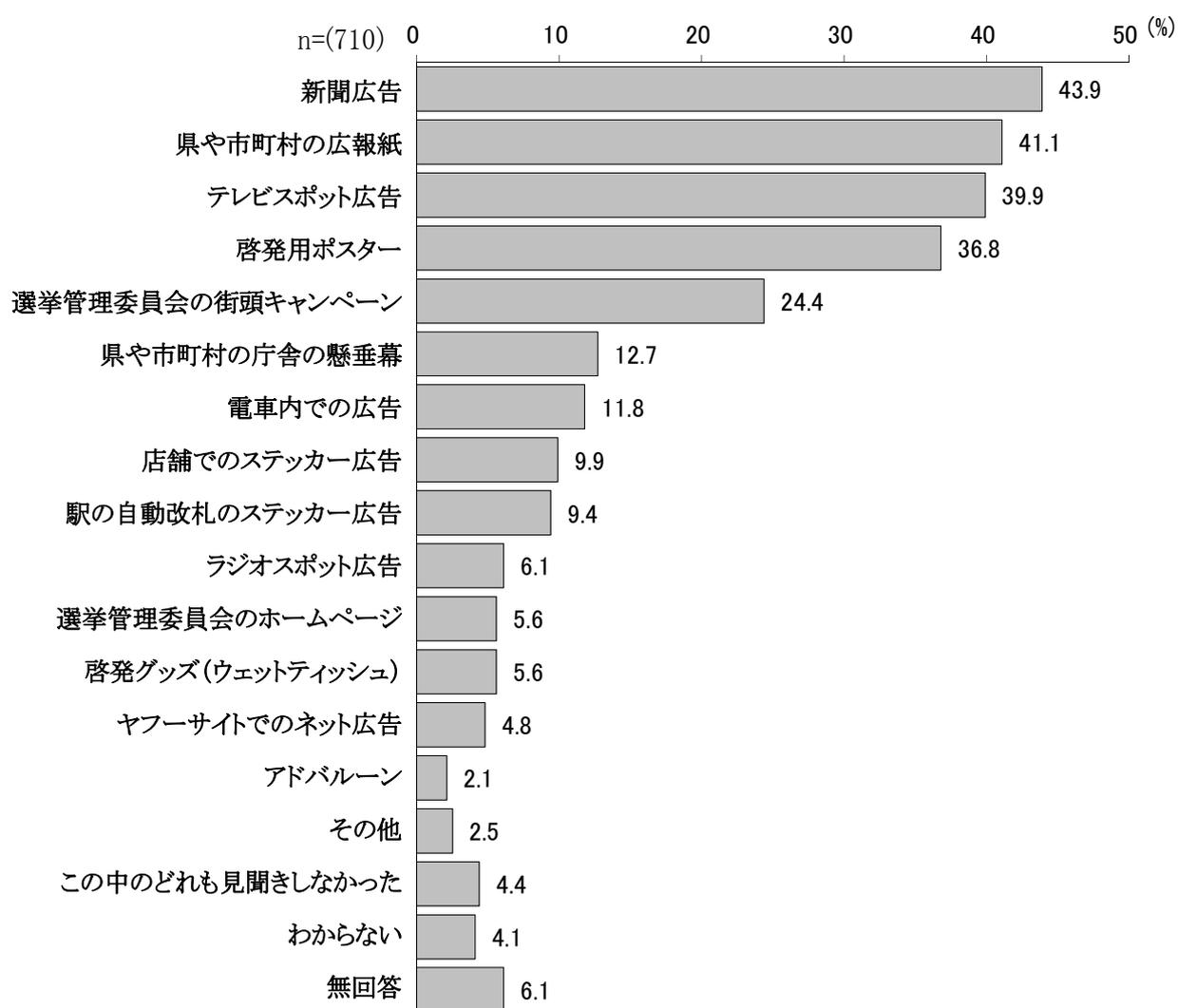
※ 「インターネットや携帯電話等を活用して、投票所に行かなくても投票できるようにする」

7. 見聞きしたことの選挙の啓発活動

問7 選挙の啓発活動において、あなたが見たり聞いたりしたものをお選びください。
(〇はいくつでも)

見聞きしたことの選挙の啓発活動では、「新聞広告」が43.9%、「県や市町村の広報紙」41.1%、「テレビスポット広告」39.9%が4割前後となっている。以下「啓発用ポスター」36.8%、「選挙管理委員会の街頭キャンペーン」24.4%などとなっている。

<図22 全体>



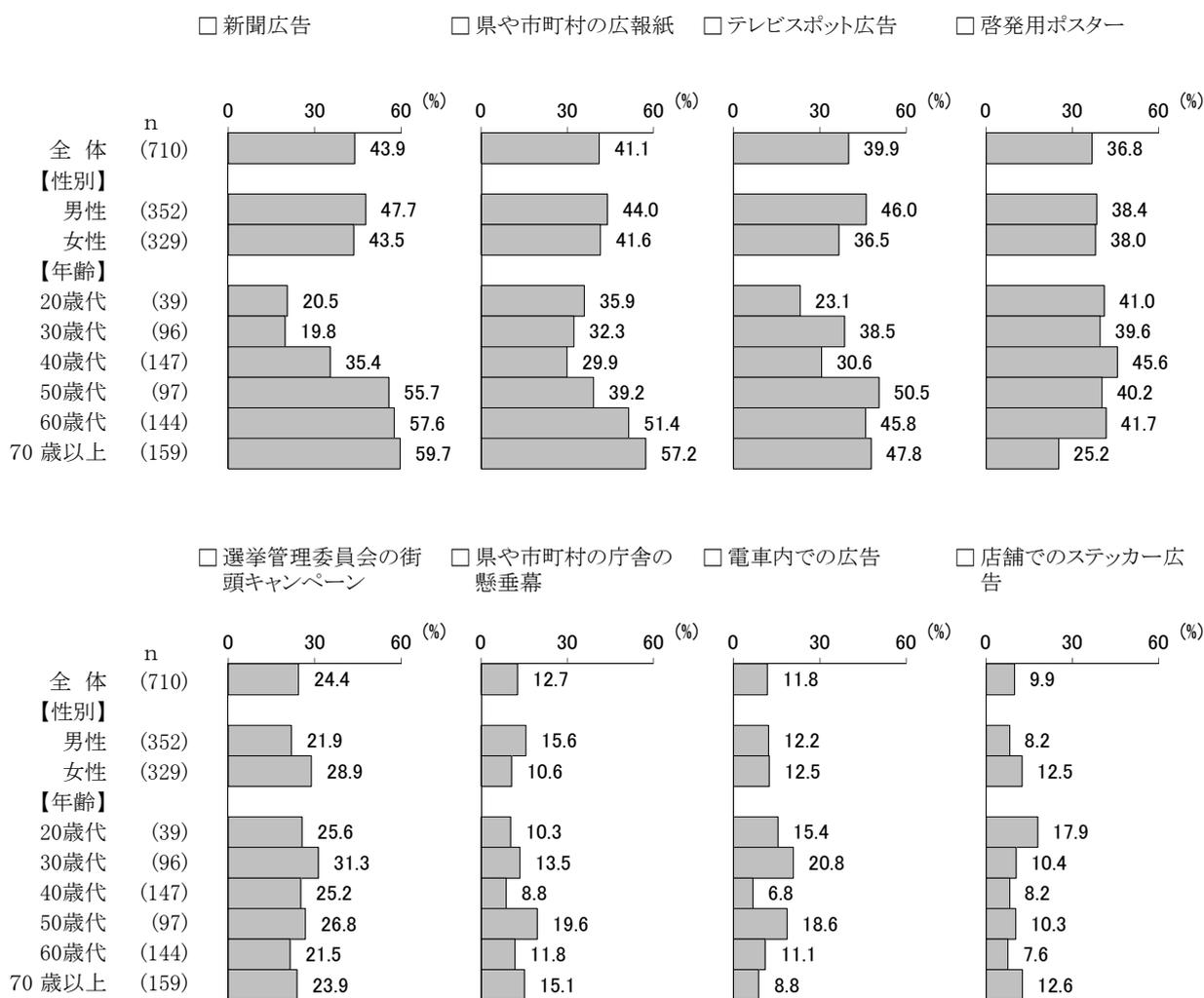
【性別】（上位8項目）

性別でみると、「テレビスポット広告」は、男性の方が女性よりも9.5ポイント高くなっている。「啓発用ポスター」と「電車内での広告」では、性別による大きな違いはみられない。

【年齢別】（上位8項目）

年齢別でみると、「新聞広告」、「県や市町村の広報紙」は、おおむね年代が上がるほど高くなる傾向がみられ、「新聞広告」は50歳代以上、「県や市町村の広報紙」は60歳代以上で5割を超えている。

<図23 性別・年齢別>

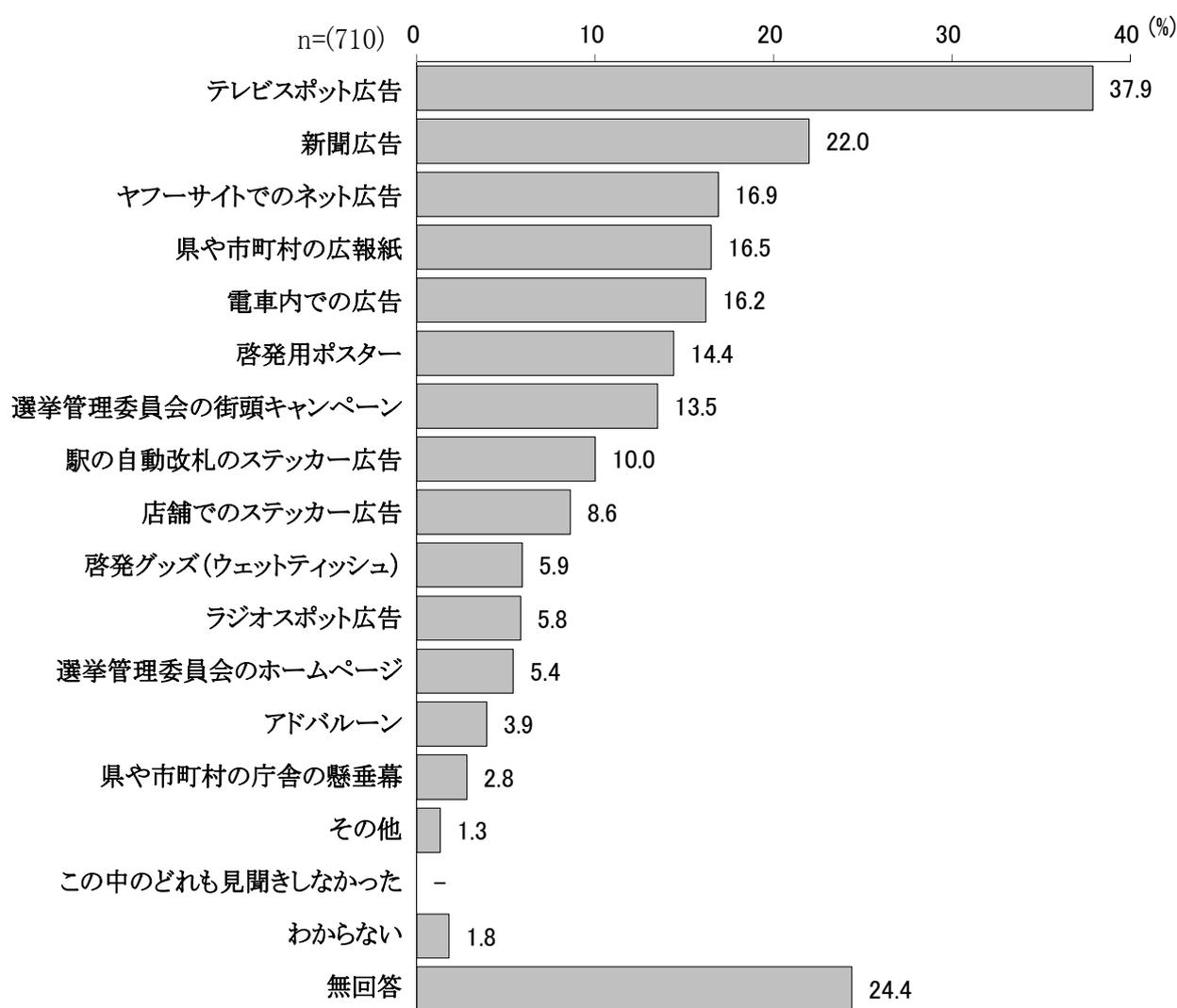


8. 投票率の向上に効果的な啓発活動

問8 問7の中で、投票率の向上に効果的だと思うものがありましたら、番号を記入してください。(番号は3つまで)

啓発活動で効果的だと思うものでは、「テレビスポット広告」が37.9%と突出しており、以下「新聞広告」22.0%、「ヤフーサイトでのネット広告」16.9%、「県や市町村の広報紙」16.5%、「電車内での広告」16.2%などとなっている。

<図24 全体>



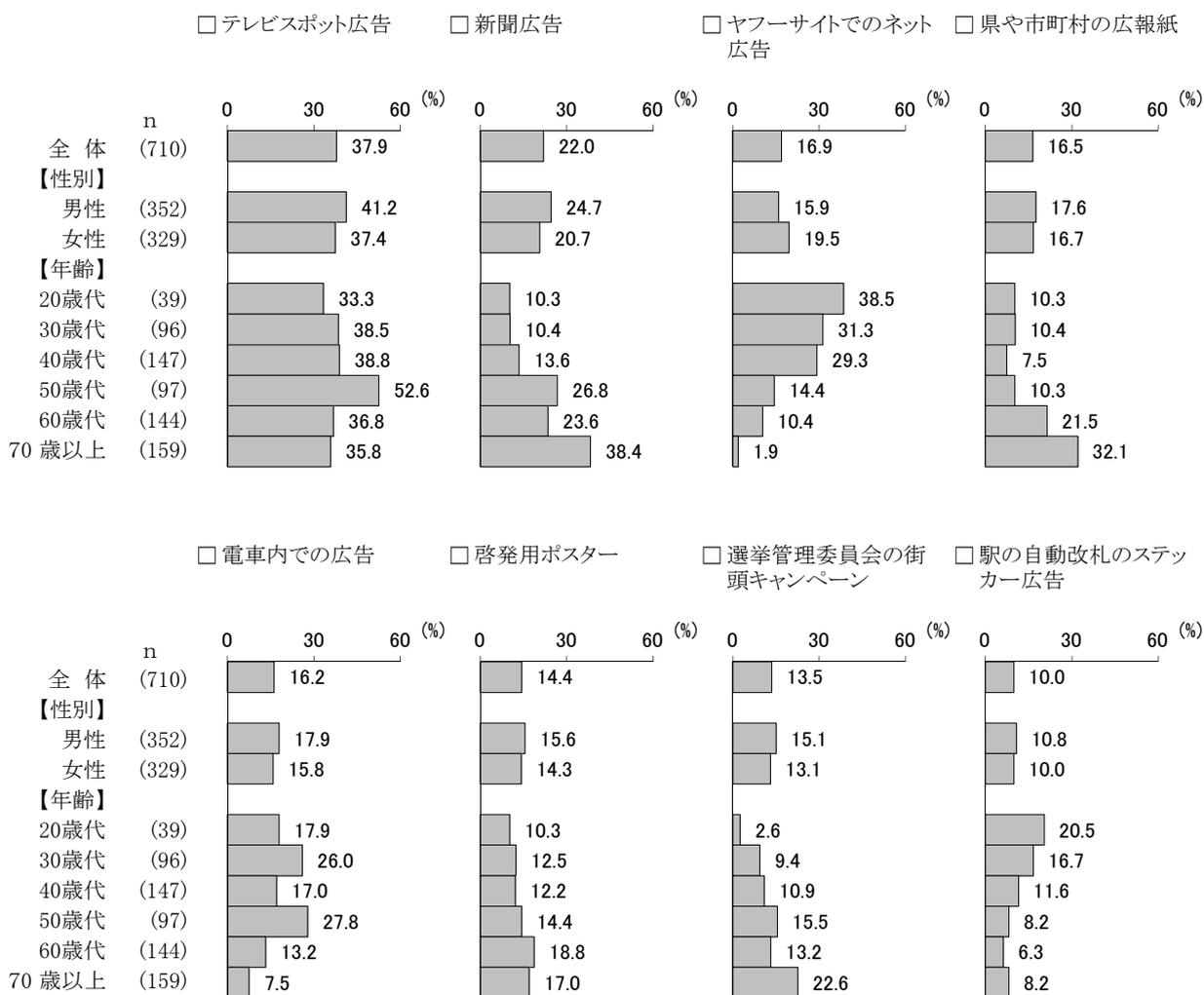
【性別】（上位8項目）

特に大きな違いはみられない。

【年齢別】（上位8項目）

年齢別でみると、「テレビスポット広告」は、50歳代で52.6%と最も高くなっている。「新聞広告」、「県や市町村の広報紙」は、おおむね年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。逆に、「ヤフーサイトでのネット広告」、「駅の自動改札のステッカー広告」は、おおむね年代が下がるほど高くなる傾向がみられる。20歳代は、「ヤフーサイトでのネット広告」が38.5%と最も高くなっている。

<図 25 性別・年齢別>



9. 自由回答

問9 最後に、選挙についてご意見などがございましたら、率直にお聞かせください。

選挙について331人から延べ366件の貴重な意見が寄せられた。各項目の件数と主な意見を掲載する。なお、一つの回答が複数の内容にわたる場合は複数回答として、それぞれの項目へ分類している。また、掲載についてはなるべく多くの方のご意見を掲載するため、回答の文中から一部を抜粋した場合もある。

内 容	件 数
選挙啓発について	
選挙への関心・啓発	51
選挙運動（ポスター、演説、宣伝カー等）について	29
政治・選挙に関する教育	23
投票について	
投票に関して	56
有権者の自覚	11
政治・政治家について	
政治・政治家に対する期待感の薄れ、不信	48
議員の日常活動・行動の公開	14
政治家に対する期待	6
選挙全般について	
選挙制度	33
選挙に対する不満	10
選挙に対する期待	7
経費	5
候補者について	
候補者等に関する情報提供	30
候補者に対する期待	15
その他	28
合 計	366

【選挙啓発について】

◆選挙への関心・啓発（51件）

- ・候補者の活動も一生懸命しているのに、どうして私達に伝わらないのか考えると、やはり私達に興味が無いのが一番の原因です。ネット投票、ハガキによる投票などさらなる短縮化を。(女性/50歳代/中央地区)
- ・若い人達が社会にとって政治がいかに大事であるかを理解してくれるような方向付けが大切であると思います。(男性/60歳代/中央地区)
- ・若い世代が選挙に行きやすくなるように、携帯やパソコン、テレビなど身近なメディアで呼びかけると良いと思います。(男性/20歳代/青木地区)
- ・若い人の選挙投票率が低いのは残念です。国や県、市町村、学校教育などで選挙の重要性についてPRしたら良いと思います。(女性/70歳以上/南平地区)
- ・候補者同士が意見をたたかわせる討論会や立会演説会などを催していただけると、有権者の関心も高まり、投票率も上がるのではないのでしょうか。(女性/50歳代/中央地区)
- ・地区ごとの投票率ベスト3を発表し、その地区の住民税を減税すれば、投票率アップにつながると思う。(女性/70歳以上/芝地区)
- ・最近の投票率の低さにはがっかりさせられます。投票権が18歳以上になって、はたしてどれだけ上がるのでしょうか。国、自治体、共に真剣に啓発方法を考えるべきだと思います。(男性/60歳代/戸塚地区)
- ・投票することは国民として義務であり権利であることを再認識させる場がほしい。特に若い人達には集合場所を利用し選挙管理委員会の名のもとに選挙をする重要性を分かるように啓発活動をしてほしいです。(女性/70歳以上/横曽根地区)
- ・選挙の「啓発」って何ですか。投票呼びかけだけを指しているなら誰も反応しないでしょう。誰に入れていいのか分からないのは何が争点か分からない上、誰が何を言っているのか分からないから。情報過多の時代に政治ほど分かりづらい情報発信しかしていない業界も珍しい。分かりづらい情報を分かりづらく発信し、有権者に自分で調べろとは傲慢だと思う。(男性/30歳代/中央地区)
- ・投票しない人に罰金を科す罰金制度にしたらどうか。(男性/60歳代/鳩ヶ谷地区)
- ・選挙を行うことで政治が良い方向へ向かう実感がわくものになってほしい。(女性/30歳代/青木地区)

◆選挙運動（ポスター、演説、宣伝カー等）（29件）

- ・地方選挙に於いて車内から大きな声で「お願いします、お願いします」と連呼されても主旨が伝わってきません。(女性/60歳代/中央地区)
- ・名前を叫ぶだけの選挙カーなどは、関心のある人もない人も迷惑に思っています。喜ぶのは後援会の人など内輪のみではないのでしょうか。普段から露出を増やし、知名度を得、理解を得るような活動をすべきです。(男性/30歳代/中央地区)
- ・選挙期間中だけ熱心に「〇〇に投票お願いします」と何人ものスタッフとともに呼びかけをしているけれど、名前を連呼するだけで何をしたいか、何が問題かなどがわからない候補者が多すぎる。選挙が終わったとたん活動もパッタリ。当選しても落選してもその候補者が何者なのか、結局よくわからない。何を活動しているのかもわからない人が多い。(女性/40歳代/中央地区)

- ・ 1. 耳触りのよい事を抽象的な言葉で言っているだけで具体的な表現がされない。 2. 選挙カーによる候補者の名前だけ言うのは禁止にすべき。 3. 自ら条例を作った人がそれを破って自分に都合のいいように解釈するので政治家は信用できない。(男性/70歳以上/横曽根地区)
- ・ 国政はメディア等が大きく報じるのに対し、知事、市長、県・市議員は全くとっていいほど報じない。投票所入場券を送って終わりでは日程も忘れやすい。もう少しPR活動(SNS、街頭)を行い周知させた方が良いでしょう。選挙カーはただうるさいだけ、その人の政策、人柄は全然分からない。人によってはイメージダウンになるのではないかと。(男性/30歳代/横曽根地区)

◆政治・選挙に関する教育(23件)

- ・ 選挙の意義や重要性を小中高生の学校教育に取り入れたらどうか。(男性/60歳代/鳩ヶ谷地区)
- ・ 選挙で投票に行くことが民主国家、国民の義務であることを小学生から教育する必要がある。投票の結果、自分の考え通りにならない場合でも、選挙結果を尊重する大切さを大人が小人に教えて行く。(男性/70歳以上/戸塚地区)
- ・ 有権者の年齢が18歳に下がった事で、学校での政治、選挙に対する指導、話しをする時間を作るべきだと思います。(男性/40歳代/南平地区)
- ・ 小学生の頃から政治に関心を持てるような環境が必要。自分の事として大切という考えを持つように。選挙権の年になってからでは遅い。家庭教育に任せることはできない。公教育の場でしっかり育てていく必要がある。(女性/60歳代/神根地区)

【投票について】

◆投票に関して(56件)

- ・ 投票所が少なく、駅から遠いところにあるので、駅前にしてもらえると助かります。電子投票システムの導入を希望します。(女性/30歳代/中央地区)
- ・ 興味が無いわけではない。投票所もコンビニや郵便局、インターネットや携帯からも投票できるようにしてもらえたら、自分は必ず投票できると思います。(女性/50歳代/神根地区)
- ・ 電子投票システム等を実施し、投票、開票事務にかかる職員等の仕事量や人件費を軽減しては。(男性/60歳代/戸塚地区)
- ・ 投票所を駅やコンビニエンスストアなど、行きやすい場所に設置する。(男性/60歳代/鳩ヶ谷地区)
- ・ 投票用紙がマークシート方式だと記入しやすいです。検討してみてください。(女性/60歳代/芝地区)
- ・ 候補者の主張を聞く機会が少なく、誰がどんな環境を持っているのかわかりにくい。仕事をしている人間にも候補者の声が届くようなアイデアがあれば、ぜひ実施してほしい。長期出張等で、帰省ができないときの対応があればいいと思う。(男性/50歳代/戸塚地区)
- ・ 今後導入されるマイナンバー制度を活用し、インターネット、携帯、電話等で投票できるようにしたら投票率アップにつながると思う。(男性/60歳代/鳩ヶ谷地区)
- ・ 投票日を2日間(土、日)にする。(男性/70歳以上/安行地区)
- ・ 不在投票の開設不足(時間、場所)。国民番号があるなら、国政はどこでも、県、市町村は該当地域に大都市出張投票所を設置。これで投票しないなら仕方ない。(男性/50歳代/新郷地区)

第4章 調査結果の詳細

- ・若者ほど時間がなく（仕事量の多さ）、投票に行くことができない（休日がないのが現状）。インターネット、携帯電話を利用することができれば、投票率の改善につながると思います。（男性/20歳代/鳩ヶ谷地区）
- ・投票所の暗い感じが嫌いです。（女性/50歳代/安行地区）
- ・選挙場に近所の人が座って番をしているのはイヤ。（女性/60歳代/青木地区）

◆有権者の自覚（11件）

- ・私は国民の義務として必ず投票に行くべきだと思っています。（女性/70歳以上/横曽根地区）
- ・政治や行政に関して不満がある者こそ投票に行くべき。義務や権利の行使を怠っている者に不満を言う資格はない。そのことを周知徹底させてほしいです。個人の資質の問題でもありますが。（男性/30歳代/戸塚地区）
- ・選挙のたびに埼玉県の1票の格差が2倍以上という不公平に納得がいかない。選挙は民主主義の手法の一つ。政治に不信不満があり、投票したい候補者がいないのなら、棄権せずに当選させたくない候補者を落選させるための投票の仕方もありだと思います。棄権は政治に対する意思の表明にはならない。棄権ではなく、白紙投票した方が意思を表したいという意味ではまだまし。（女性/60歳代/中央地区）

【政治・政治家について】

◆政治・政治家に対する期待感の薄れ、不信（48件）

- ・正直誰が何やっても何もかわらないと思います。（女性/20歳代/南平地区）
- ・議員数を減らした方が良くはないか（県議、市議その上に国会議員と多すぎる）。選挙のためだけのパフォーマンス的主張とトークをやめてもらいたい（その通りになったためしがなく、信憑性にかける）。国民の為の選挙、国政であるように。（女性/30歳代/南平地区）
- ・国民全体が政治に無関心な人が多いと感じる事があります。政治によって生活が豊かになると言う実感が生きていく中であまり感じないせいか、結果的に“私一人くらいが選挙に行かなくても”という考え方につながるのではないのでしょうか。（女性/20歳代/南平地区）
- ・企業、団体等の力が強く個人の意見がほとんど通らない社会になってしまっている事が問題（投票率が低い原因になる）。投票する前に既に決まっている。現に開票1%で決まってしまう。（男性/70歳以上/横曽根地区）
- ・政治は市民、国民のもの。政治家がしっかり政治を行えばおのずと政治に関心を持つ。今の政治家は自分のことしか考えていない。国民、日本を考える政治家を小さい時から育てる。（男性/60歳代/鳩ヶ谷地区）
- ・埼玉県に限らず町内会→市議会→県議→国会議員へのルートが、立候補者及びそれらの集団の最大の目的であることが、見え見えの政治家。すでに家業といっても過言ではない人々に社会的意義を求めるのは無理を感じるので、現況はそれなりに正常な市民意識だと思われる。特に祖父も父親もせがれもの例が何と多いことか。通常一般生活の中ではこれを家業と言うのではないか。（女性/60歳代/安行地区）
- ・①国政選挙は時の政権政党の信任投票になっており、将来についての争点がないのが低投票率の原因ではないか。②地方選挙も同様であり、何をやりたい人なのかのPRのない人が多い。（男性/70歳以上/新郷地区）

- ・啓発活動よりは、立候補者の政策や運動に実効力や魅力がない。議員になりたいだけの選挙活動にあきれる。一般市民の給料よりも高い。就職活動としか思えない。利益は身内だけの悪しき政治としか言えない。(女性/40歳代/新郷地区)
- ・それぞれの政党や候補者が政策等有言実行してくださるのか疑問に感じる。選挙に当選するために無理なことまで政策案として掲げているのではないかと感じてしまいます。国民、市民のために誠実により良い日本に変えていただきたい。税金を無駄のないよう価値のある使い方をしてほしいです。国民が政治不信にならないように頑張ってください。(女性/40歳代/新郷地区)

◆議員の日常活動・行動の公開（14件）

- ・啓発活動や広報よりも、立候補者の考えや実績がわかるような比較や統計情報を有権者に広めるように日頃から活動していく必要があると思います。公費の使い方や議員実績、共通の公開質問に対する回答の公開をしていけば、有権者は権利を無駄にしなくなると思います。(男性/40歳代/芝地区)
- ・各議員の活動・考え方・主張など、仕事の忙しい人は個々が出している宣伝のような知らせではなく、表の様（スキップシティに庁舎を！ 賛成・反対）に明確な個人の意志がわかるような物を1つの表にし、選挙ポスターの横に明示すること。どこかの市では議員さんの成績表の公開をしているとのことで、こういう取組には賛成です。(女性/60歳代/神根地区)
- ・選挙の時だけ頭を下げて握手を求めますが、当選後はその候補者がどのような活動をされているか、全く（ほとんど）わかりません。もっと候補者が何をしたいか、しているか、発信してほしいです。分かれば次回もまた頑張りたいと行く気になると思います。(女性/70歳以上/芝地区)
- ・地方選挙の場合が特に感じますが、選挙期間しか表に出ない人が（出るのが少ない人が）当選するなどあってはいけないと思う。(男性/50歳代/中央地区)

◆政治家に対する期待（6件）

- ・受かった議員さんは市民の為、一生懸命仕事をしていると思います。(女性/60歳代/芝地区)
- ・他人の意見をちゃんと聞ける人に、政治に携わってもらいたいです。(女性/60歳代/神根地区)
- ・議員の質の向上を望みます。(女性/60歳代/中央地区)
- ・子どもが生まれてから、選挙に関心を持つようになりました。ですが、当選者に直接の声が届いていないようにも感じます。宗教と政党の関係にも嫌気が差すこともあります。かと言って投票しない事にもジレンマを感じます。もっと市議でも県議でも議員さんとの接触がほしいです。現在行われているタウンミーティングのようなものではなく、ざくばらんに話せる場所、地元の人が行うのではなく、年代ごとに開催するとか、保育所や学校の懇談会でのミーティング等でも良いと思います。そういった場があると、候補者を理解し投票率も上がると思います。(女性/30歳代/芝地区)

【選挙全般について】

◆選挙制度の改革（33件）

- ・選挙自体は問題ないと思う。ただ、国家ばかり地方ばかり議員が多すぎて、とてもじゃないが一人一人がしっかりと政治活動を行っているとは思わない。こういった考えが多くの人意見ではないだろうか。政治家たちの既得権益にすぎた腐った態度を直さない限り、支援者+αの選挙にしかならないと思う。(男性/20歳代/芝地区)
- ・政治のレベルはそれを選んだ国民のレベルそのものであることを理解しないと世の中が良くならない。その為の選挙ではあるが、一票の格差の解消等必要な選挙改革も急務と思われる。(男性/60歳代/神根地区)
- ・政党助成金は中止する。個人以外の寄付金は中止(企業、パーティ券)。(男性/70歳以上/安行地区)
- ・議員定数の削減と比例区の完全撤廃。(男性/30歳代/安行地区)
- ・選挙ありきで制度を語ることでは何も変わらない。(女性/30歳代/安行地区)
- ・1票の格差をすみやかに解消すべきだ。(男性/50歳代/芝地区)
- ・選挙で何が変わるのだろう。政治家は選挙の為に金を大量に使い国民の前に出るが、選挙が終わってみるとまるで今まで何も無かったことのように国民とは距離がある。政治家のショーみたいだ。アメリカみたいに国民も盛り上がってフィーバーするような選挙がいい。(女性/40歳代/神根地区)

◆選挙に対する不満（10件）

- ・選挙に希望が見いだせない。(男性/60歳代/鳩ヶ谷地区)
- ・最近特に不正などが目立つので、選挙しても「あまた不正か」みたいな事になるので、行く気にまったくならない。(女性/30歳代/中央地区)
- ・いくら投票に行っても組織力のある方が当選するので、公平に欠けていることが不満です。(女性/60歳代/南平地区)

◆選挙に対する期待（7件）

- ・投票率が低下していることをいつも残念に感じています。これからの若者に期待したいと思っています。(女性/70歳以上/横曽根地区)
- ・選挙により政治が良くなり、生活が楽になればよいのですが。(男性/40歳代/神根地区)
- ・選挙に出る方は自分がこれからどう日本を変えていくかを国民に伝えて頂きたいと思います。それには自らの足で地域の方々に話し、歩き回って言葉で発してほしいと思います。(男性/40歳代/神根地区)
- ・出口調査をやめて欲しいです。結果がすぐわかってしまうのはどうかと思います。選挙という物をもっと良く考えてほしいものです。有権者はある程度期待していると思います。(女性/60歳代/青木地区)

◆経費（5件）

- ・選挙に費やされる税金の節減。それによる減税。（男性/30歳代/安行地区）
- ・お金をかけて選挙をしているが、それが国民のためになっているとは思えません。
“選挙をするためにお金をかける”のではなく、“国民のために選挙を”してもらえたらいいと思います。（女性/30歳代/横曽根地区）
- ・大事な税金です。何よりもお金のかからない工夫をお願いしたいと思います。（女性/60歳代/青木地区）

【候補者について】

◆候補者に関する情報提供（30件）

- ・候補者の政策等わからないので、広報紙等で掲載してほしい。（男性/60歳代/中央地区）
- ・テレビで政治家の不祥事ばかりが目立つような放送がされており、誰が当選しても日本が変わらないと思わされるようになってきている気がする。また、功績を残してもそれがクローズアップされることもなく、誰がどんな良い事をしたかも分かりにくい。そんな状態で誰に投票すればいいか分からない。もっと功績を伝えるべきだと思う。（男性/30歳代/神根地区）
- ・政党数を減らして政党ごとの主張を明らかにさせることと、選挙ごとに争点を明らかにさせる努力が政党、選挙管理委員会に強く求められると考える。（男性/50歳代/南平地区）
- ・候補者の情報、施策が伝わりづらい。誰が何と主張しているのかが不明なので興味がなくなる。当選した人々がマニフェストを守ったのかも分かりづらい。守っていない人は次の選挙に出られない等の対策があっても良いかも。（男性/20歳代/南平地区）
- ・選挙投票する側が判断するだけの情報量が足りない。いつも誰に投票するか迷っても判断するだけの資料がない。（男性/60歳代/鳩ヶ谷地区）
- ・議員の任期中の活動、状況を広報紙に視覚化せよ。メディア、マスコミは重大な選挙テーマ各々に政党と候補者がどのような考えかをわかりやすく提供すべし。（男性/60歳代/中央地区）
- ・何よりも候補者の事がわからない。支持できる政党のことがわからない。裁判官はもっとわからない。政策討論会は観ていて眠くなる。何をしたいのか、選挙の時期だけでは把握できない。（女性/50歳代/南平地区）
- ・誰が何を考えているのかが分かりにくい。駅前で活動するのはいいが、候補者全員分の政策を1回で提供して欲しい。紙媒体が分かりやすいし、読もうと思う。（男性/30歳代/中央地区）
- ・選挙前に、これまでの任期内の政策一覧に対してそれぞれの候補者がどの位関わっているのか、反対しているのかがわかる一覧表があると投票しやすいと思う。（男性/50歳代/鳩ヶ谷地区）

◆候補者に対する期待（15件）

- ・自分達の代表として「この人」ならと思うような候補者が立候補してほしいものと常に望んでいます。特定の宗教、政党色の特に強い人には抵抗を感じます。（女性/70歳以上/芝地区）
- ・政治家の資質の向上が必要。政治家は月給取り（高額すぎる）ではない筈だ。きたない金に平気で手を出すな。尊敬できるような人格を高めない限り、政治はよくなるまいだろう。（男性/70歳以上/芝地区）
- ・魅力がある候補者が立候補しない限り投票率は上がらないと思います。（男性/50歳代/鳩ヶ谷地区）

第4章 調査結果の詳細

- ・選挙に立候補する人は自分自身の事だけでなく、国・県・自治体の事をよく考えて立候補して下さい。よりよい社会をつくって下さい。(男性/70歳以上/鳩ヶ谷地区)

【その他】

- ・このようなアンケートをとっても、何の解決にもならないような気がします。税金を使ってもったいないと思います。(女性/50歳代/芝地区)
- ・投票率が県内他市と比較して低いのは問題だと思うが、それが選管からアンケートというのがそもそもおかしい。選管ではなく、政治の問題だ。(男性/50歳代/横曽根地区)
- ・経済的に安定していないと政治に関心が持てないのだと思う。若い人達は特に。(男性/70歳以上/鳩ヶ谷地区)
- ・最高裁判事の○×をつける場合、裁判官がどのような裁判を行ってきたかの情報がわからないので判断ができない。(男性/50歳代/青木地区)
- ・女性の選挙権の為、努力してくれた先人達には現状を考えると、大変申し訳なく思います。ただ、これだけ恵まれた環境の中にいると、逆に明治期の人達があれほどまでに一生懸命になれたのか。今あるのも先人のおかげには間違いないのですが。(女性/60歳代/神根地区)
- ・民主主義の原則は多数決なので、参加したくない人を無理に投票させる必要はない。投票率を問題にする必要はない。(男性/60歳代/安行地区)

第5章 調査票

川口市 選挙に関する意識調査

問1 あなたは、選挙の時に投票に行っていますか。次の中から選挙ごとにお選びください。
 (○はそれぞれ1つ)

国政選挙 <small>(衆議院議員総選挙、 参議院議員通常選挙)</small>	1. ほぼ毎回行く 2. 行くことが多い 3. たまに行く	4. ほとんど行かない 5. 行ったことがない
地方選挙 <small>(県知事選挙、市長選挙、 市議会議員一般選挙など)</small>	1. ほぼ毎回行く 2. 行くことが多い 3. たまに行く	4. ほとんど行かない 5. 行ったことがない

問2 あなたが、過去に投票に行った理由は何ですか。次の中から選挙ごとにお選びください。
 (○はそれぞれいくつでも)

投票に行った理由	国政選挙	地方選挙
(1) 当選させたい候補者がいたから	1	1
(2) 応援したい政党があったから	2	2
(3) 今の政治がよくないので、それを改めたいと思ったから	3	3
(4) 投票するのは国民の義務だと思うから	4	4
(5) 投票するのは国民の権利だから	5	5
(6) 団体、組織、知り合いに頼まれたから	6	6
(7) その他 ()	7	7
(8) 投票に行ったことがない	8	8

問3 あなたが、過去に投票に行かなかった理由は何ですか。次の中から選挙ごとにお選びください。
 (○はそれぞれいくつでも)

投票に行かなかった理由	国政選挙	地方選挙
(1) 仕事や用事(仕事以外)があったから	1	1
(2) 病気又は体調が悪かったから	2	2
(3) 面倒だから(投票所が遠いからを含む)	3	3
(4) 選挙にあまり関心がなかったから	4	4
(5) 候補者の政策や人柄などがよくわからなかったから	5	5
(6) 適当な候補者も政党もなかったから	6	6
(7) 私一人が投票してもしなくても同じだから	7	7
(8) 選挙によって政治はよくなると思ったから	8	8
(9) 棄権することによって、自分の政治に対する意思を表したかったから	9	9
(10) 選挙があることを知らなかったから	10	10
(11) その他 ()	11	11
(12) いつも投票に行っている	12	12

第5章 調査票

問4 全国的に選挙の投票率が低いことが問題になっています。あなたは、投票率が低くなっている理由は何だと思えますか。(○はいくつでも)

1. 有権者の政治への不満や不信のあらわれ
2. 支持できる政党や候補者がいないから
3. 政治より自分のことを中心に考えるから
4. 投票しても政治はよくなるから
5. 自分一人くらい投票しなくても、大勢に影響ないと考えている人が多いから
6. 若い人が政治に無関心だから
7. 投票する前から当選人が決まっているような選挙が多いから
8. 国や県、市町村の選挙管理委員会の啓発活動が足りないから
9. その他 ()
10. わからない

問5 最近の選挙での投票率が低い現状について、あなたはどのように思えますか。(○は1つ)

1. 選挙は、自分たちの代表を選ぶ機会であるから、投票率が低いことは問題だと思う
2. 投票するかしないかは個人の自由なので、仕方がないと思う
3. 政治への不満や不信感から投票率が低くなるのも当然だと思う
4. その他 ()
5. 特に何も感じない
6. わからない

問6 今後、国民の選挙への関心を高め、投票率の向上を図るには、選挙制度などを含め、どうすればよいと思えますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○は3つまで)

1. 学校教育で選挙に関する教育を充実する
2. 国や県、市町村が選挙の意義や重要性について、もっと積極的にPRする
3. 民間の団体や地域の商店街などが主体となって投票参加の呼びかけを行う
4. マスコミがもっと選挙に関する報道をする
5. テレビなどで政策討論会や候補者討論会ができるようにする
6. 投票した際になんらかの特典がある
7. 投票しない人に罰金を科したり、投票を登録制にするなどの制限を設ける
8. 期日前投票の場所をもっと増やし、時間も延長する
9. 投票所を駅やコンビニエンスストアなどもっと行きやすい場所に設置する
10. 投票所への移動支援を行う
11. 投票所の投票について、電子投票システムを導入する
12. インターネットや携帯電話等を活用して、投票所に行かなくても投票できるようにする
13. その他 ()
14. わからない

問7 選挙の啓発活動において、あなたが見たり聞いたりしたものをお選びください。

(○はいくつでも)

1. 選挙管理委員会のホームページ	10. テレビスポット広告
2. ヤフーサイトでのネット広告	11. ラジオスポット広告
3. 店舗でのステッカー広告	12. 啓発グッズ(ウェットティッシュ)
4. 駅の自動改札のステッカー広告	13. 電車内での広告
5. アドバルーン	14. 選挙管理委員会の街頭キャンペーン
6. 新聞広告	15. その他()
7. 啓発用ポスター	16. この中のどれも見聞きしなかった
8. 県や市町村の庁舎の懸垂幕	17. わからない
9. 県や市町村の広報紙	

問8 問7の中で、投票率の向上に効果的だと思うものがありましたら、番号を記入してください。

(番号は3つまで)

--	--	--

問9 最後に、選挙についてご意見などがございましたら、率直にお聞かせください。

ご回答の結果を統計的に分析するために、あなたご自身のことについておたずねします。

F1 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 20~24歳	3. 30~34歳	5. 40歳代	7. 60歳代
2. 25~29歳	4. 35~39歳	6. 50歳代	8. 70歳以上

第5章 調査票

F 3 あなたの勤め先、仕事場、通学先はどこにありますか。(○は1つ)

1. 自宅	5. 埼玉県と東京都以外
2. 川口市	6. その他()
3. 川口市以外の埼玉県内	7. 通勤・通学はしていない
4. 東京都内	

F 4 あなたのお住まいの地区を次の中からお選びください。(○は1つ)

1. 中央地区	本町1~4丁目、栄町1~3丁目、金山町、舟戸町、幸町1~3丁目、川口1~3丁目
2. 横曽根地区	川口4~6丁目、飯塚1~4丁目、西川口1~6丁目、仲町、飯原町、原町、宮町、南町1~2丁目、緑町、荒川町、並木元町、並木1~4丁目
3. 青木地区	前川町2~4丁目、青木1~5丁目、中青木1~5丁目、西青木1~5丁目、上青木西1~5丁目、上青木1~6丁目、上青木町4丁目、南前川1~2丁目、前上町、前川1~4丁目
4. 南平地区	朝日1~6丁目、末広1~3丁目、新井町、元郷1~6丁目、弥平1~4丁目、東領家1~5丁目、領家1~5丁目、河原町
5. 新郷地区	大字赤井、大字東本郷、大字蓮沼、大字前野宿、大字東貝塚、大字大竹、大字峯、大字新堀、大字榛松、新堀町、榛松1~3丁目、赤井1~4丁目、江戸1~3丁目、江戸袋1~2丁目、本蓮1~4丁目、東本郷1~2丁目
6. 神根地区	大字安行領根岸、大字安行領在家、大字道合、大字神戸、大字木曾呂、大字東内野、大字源左衛門新田、大字石神、大字赤芝新田、大字西新井宿、大字新井宿、大字赤山、在家町、北園町の一部、柳根町の一部、柳崎4丁目の一部、柳崎5丁目の一部
7. 芝地区	大字芝、大字伊刈、大字小谷場、芝中田1~2丁目、芝新町、芝下1~3丁目、芝1~5丁目、芝樋ノ爪1~2丁目、芝高木1~2丁目、芝宮根町、芝東町、芝富士1~2丁目、芝園町、芝塚原1~2丁目、芝西1~2丁目、北園町の一部、柳根町の一部、柳崎1~3丁目、柳崎4丁目の一部、柳崎5丁目の一部
8. 安行地区	大字安行原、大字安行領家、大字安行慈林、大字安行、大字安行吉岡、大字安行藤八、大字安行吉蔵、大字安行北谷、大字安行小山、大字安行西立野、安行出羽1~5丁目
9. 戸塚地区	大字戸塚、大字西立野、大字長蔵新田、大字久左衛門新田、大字藤兵衛新田、大字行衛、大字差間、東川口1~6丁目、北原台1~3丁目、戸塚1~6丁目、戸塚鉋町、戸塚境町、戸塚東1~4丁目、差間1~3丁目、長蔵1~3丁目
10. 鳩ヶ谷地区	桜町1~6丁目、鳩ヶ谷本町1~4丁目、坂下町1~4丁目、大字里、大字辻、三ツ和1~3丁目、南鳩ヶ谷1~8丁目、大字前田、大字三ツ和、八幡木1~3丁目、鳩ヶ谷緑町1~2丁目

F 5 あなたは、お住まいの市町村に何年ぐらい住んでいますか。(○は1つ)

1. 3年未満	4. 20年以上
2. 3~9年	5. わからない
3. 10~19年	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

**川口市選挙に関する意識調査
報告書**

平成27年9月

調査・発行	川口市 選挙管理委員会事務局
〒332-8601	川口市青木2-1-1
	電 話 048-259-7940 (直通)
	F A X 048-258-5877
集計・分析	(株)サーベイリサーチセンター
〒116-0013	東京都荒川区西日暮里2-40-10
	電 話 03-3802-6724

